

伊沢多喜男関係文書目録

2011.8 PDF 作成

国立国会図書館憲政資料室

凡例

当目録の作成にあたっては、伊沢多喜男文書研究会作成の目録および同研究会編『伊沢多喜男関係文書』（伊沢文書研究会編、芙蓉書房出版、2000）を参考にした。

「翻刻あり」と注記されている資料については、上記『伊沢多喜男関係文書』に翻刻が収録されている。

伊沢多喜男関係文書目録 目次

【書簡の部】

伊沢多喜男宛書簡	p.	1
伊沢多喜男発信書簡	p.	57
第三者間書簡	p.	66
伊沢高子結婚関係書簡	p.	67
その他（空封筒）	p.	69

【書類の部】

和歌山県関係	p.	70
愛媛県関係	p.	70
警視庁関係	p.	71
台湾関係	p.	71
貴族院関係	p.	74
選挙革正関係	p.	75
満州関係	p.	76
枢密院関係	p.	77
治山治水事業関係	p.	78
長野県関係	p.	81
意見書・調査報告書類	p.	83
雑書類	p.	85
名簿	p.	86
伊沢多喜男関係記事	p.	87
証書類	p.	88
招待状・下賜状（皇室関係）	p.	89
日記・手帳	p.	91
伊沢手記・回想・演説記録等	p.	94
詩文等	p.	96
伊沢家関係書類	p.	98

書簡の部

伊沢多喜男宛

1 青木一男

- 1 昭和（15）年12月27日 枢密顧問官親任のお祝い。貴族院で英姿拝せず淋しい。
封筒欠
- 2 昭和24年1月5日 祝辞・饗応への礼。

2 青木周三

- 昭和(14)年 月1日 再選に親書恐縮、菊池君からも意見。平沼君手術の結果宜しく安心。
翻刻あり

3 青木得三

- 1 昭和11年8月11日 饗応への礼、本日淡交会の当日。
- 2 昭和13年2月1日 雑誌拙文に対する書簡への礼。同案立案を命令した故浜口。
翻刻あり

4 赤木朝治

- 昭和11年9月8日 突然参上、ゴルフと馳走への礼。

5 明石照男

- 昭和（21）年1月8日 会派の件を次田に相談、次田は同和会へ。小生貴族院追放か。
翻刻あり

6 明石元長

- 1 昭和20年7月26日 東京邸宅焼失の見舞い、拙宅も五月二十五日戦火、内藤家に寄宿。
翻刻あり
- 2 昭和22年2月2日 某党より参議院の後援勧誘、衆議院より出直す。榑崎と政治的進退を共に。
翻刻あり
- 3 2月10日 苦盃を喫す、貴院の実相を体験。
359を同封 翻刻あり

7 縣忍

- 大正6年8月14日 垂示の件、別紙内偵取調書封入。
「別紙」なし 翻刻あり

8 秋元春朝

- 昭和11年8月22日 昨日近衛公来訪。
翻刻あり

9 安達謙蔵

- 昭和6年11月14日 大浦来訪、小生養嗣子就職の推薦願う、別紙履歴書封入。
「別紙」なし 翻刻あり

- 10 **安倍能成**
8月20日 仁霊荘での一泊の礼。
翻刻あり
- 11 **有田八郎**
昭和17年11月11日 大東亜省のことは今後の運用如何につながる。若槻男伊東滞在中に訪問希望。
翻刻あり
- 12 **有吉忠一**
大正（14カ）年4月22日 山崎の件、昨日観桜宴で安藤へ本省入りを依頼。
翻刻あり
- 13 **有吉実**
- 1 昭和18年4月21日 尼崎市長退職、在職約九年、理由は複雑。
翻刻あり
 - 2 昭和（22）年3月3日 舎兄死去への弔問の礼。
- 14 **安藤七郎**
昭和12年3月30日 星庫之助教養への礼。
翻刻あり
- 15 **伊江朝助**
- 1 昭和（4）年7月7日 浜口内閣成立。辻本正一目下窮困、地方官就任の尽力を。
翻刻あり
 - 2 昭和17年10月11日 高話の礼。最高諮詢府諸公の政治批判は必要。
翻刻あり
 - 3 昭和（20）年8月25日 罹災転居通知に同情、小生も同様。大東亜戦争も最悪の場面。
翻刻あり
- 16 **池上秀畝**
昭和11年8月1日 座話会の顔触面白い、木村君も訪問の由。昨夜小川商相桜井木村と座卓を囲む。
- 17 **池田成彬**
昭和21年6月2日 昨十二月の一身上の問題、今回疑雲一掃不起訴、祝詞感謝。
翻刻あり
- 18 **池田秀雄**
- 1 昭和17年4月24日 弁士戸田・宇賀を差し向けられた礼。諸岡医学博士応援演説を差止められ困却。
翻刻あり
 - 2 昭和18年8月27日 残暑見舞。
 - 3 昭和23年2月15日 田中耕太郎訪問面会ならず。中村正雄訪問、伊東別荘売却、松尾鉦山の件一考の由。
翻刻あり

19 池田宏

- 1 昭和7年1月1日 大阪柴田の辞表、大久保が水野次官へ却下の懇請、小橋局長を経て愚見開陳。
翻刻あり
- 2 年月日不詳 新聞の維新政府顧問は間違い、現地の懇請で名誉職に。
封筒欠 翻刻あり

20 生駒高常

- 1 昭和6年8月13日 各外地の行政整理問題等で混雑、堀切次官に伝える。小河は朝鮮出張中。
翻刻あり
- 2 昭和9年9月4日 在満機構問題。明朝橋本陸軍次官に会見。陸軍省は政党勢力を警戒。
翻刻あり
- 3 昭和11年9月4日 台湾総督の件は拓務大臣に伝えた。日本青年館に入れぬ事情。
翻刻あり
- 4 昭和12年8月6日 公社創立委員に任命、青年団を辞退しても支障なき程度を受ける。
翻刻あり
- 5 9月6日 仁礼館宿泊の礼。
封筒欠

21 伊沢修二

- 1 明治30年3月4日 母上奉養会の件。
消印日付は5月18日
- 2 明治43年2月21日 愛媛赴任は平田内相の頼み、1年間は耐忍を。煙害問題請願の件。
翻刻あり
- 3 1月4日 佐々木先生の開示で得たる所あり。貴弟の書状ほどうれしきものなし。
封筒欠 翻刻あり
- 4 2月4日 官吏の奉職は信用を得てこそ好位置に、運動奔走は片腹痛い。
封筒欠 翻刻あり
- 5 3月23日 雑誌日本人に執筆の森田義郎の紹介状。
封筒欠 翻刻あり
- 6 明治(32カ)年8月23日 (伊沢多喜男・伊沢富次郎宛) 父母墓地石垣改築の件。
封筒欠

22 伊沢信三郎

明治(32カ)年8月18日 父母墓地石垣改築の件。

23 伊沢多喜男執事

6月23日 六月十一日から二十二日までの来訪者、電話一覧。
翻刻あり

- 24 伊沢富次郎**
 明治29年6月4日 判任待遇病院吏員資格有無の調査依頼。
 翻刻あり
- 25 石井菊次郎**
 大正13年10月24日 台湾御栄任の吉報。臨時連盟理事会をブラッセルで開催、明後日出発。
 翻刻あり
- 26 石井光次郎**
- 1 昭和20年4月11日 下村放送協会会長入閣の跡釜にとの内談辞退。大橋八郎が就任か。
 翻刻あり
 - 2 昭和(20)年5月4日 大空襲の罹災見舞。伊東在住で安心。
 翻刻あり
 - 3 昭和22年5月17日 妻木の西日本石炭鉱業会就職問題、小生追放問題。
 (付) 妻木栗造書簡(伊沢宛カ)同封 翻刻あり
 - 4 昭和(22カ)年9月25日 下村等戦犯容疑から助かる。先生の追放思いがけず。
 翻刻あり
 - 5 昭和(22カ)年8月14日 退官追放後伊東に伺う機逸す。妻木の件、色よい返事来たらず。
 翻刻あり
- 27 石垣倉治**
 昭和11年9月5日 総督更迭に伴い小生断末魔、前総督退官発表前に辞表提出。
 翻刻あり
- 28 石川啓**
 昭和11年7月27日 暑中見舞。
- 29 石川重男**
 昭和6年2月12日 太田台湾総督中央・地方視察、高橋総務長官霧社視察。霧社事件跡始末進行。
 翻刻あり
- 30 石黒英彦**
- 1 昭和12年6月24日 北海道庁転任の祝詞への礼。
 - 2 昭和2年9月6日 全島視学講習会・小公学校長講習会開催、加藤寛治来島。
 翻刻あり
- 31 石田馨**
- 1 昭和11年8月18日 来示の人事、内申添え手続進行中。
 翻刻あり
 - 2 昭和11年9月14日 宮沢の件希望達し安心、配慮の礼。
 363を同封 翻刻あり
- 32 石原健三**
- 1 昭和2年4月15日 塚本書記官長の書状、枢府欠員に小生推挙、緊急なら応と返事。
 翻刻あり

- 2 昭和（4）年8月7日 芦屋の令孫、不慮の不幸お悔み。
- 3 1月14日 幣原の病状留守宅に問い合わせ。胆石でなく盲腸炎。
- 33 磯貝浩**
8月12日 選挙は無風状態、安慮を。
翻刻あり
- 34 一木喜徳郎**
1 大正（15）年7月17日 東京市長就任確定祝。渋谷徳三郎の件丸山へ話す。宇高寧紹介。
翻刻あり
2 昭和12年5月15日 回付の草案文書、大体原案で結構。
翻刻あり
3 年月日不詳 珍味礼状。
名刺に書込
- 35 稲畑勝太郎**
1 昭和12年4月19日 政界への後援は昨年打切。依頼の品送付、この種のことは今回で打切。
翻刻あり
2 昭和（22）年3月17日 貴族院解散に参列を希望。伊沢と若槻に最後の別れをしたい。
35-3を同封 翻刻あり
3 昭和（22カ）年3月18日 河井昇三郎に託した煙草拝受。近日中上京議会出席。
35-2に同封 翻刻あり
4 3月3日 シロゲン受取を。住友保善会に権利帰し入手困難。
翻刻あり
5 15日 今日の有様言語に尽し難し。河井は最も信用する人格者。
翻刻あり
- 36 井上英**
昭和11年9月6日 旭川市会議員等よりの懇請に応諾を決意。有吉副会長も承認。
翻刻あり
- 37 井上要**
昭和7年10月12日 貴族院議員選挙は民政政友共仲田伝之・を推し当選、研究会に加盟。
消印日付は9月13日 翻刻あり
- 38 井上孝哉**
1 大正（15）年7月23日 東京市長就任の祝い。佐々未亡人来訪、原宿の家東京市の買上利用を依頼。
2 昭和11年9月3日 昭和八年石原武二の件、去月二十八日東京控訴院で無罪判決確定。
翻刻あり

- 39 井上準之助**
昭和（6）年9月1日 雑誌社経済知識で浜口の追悼号、伊沢の辞を掲載したい。
翻刻あり
- 40 井上匡四郎**
1 昭和11年4月24日 例之件は滞りなく進捗の様子安心。市政革正は望み難き。
翻刻あり
2 昭和（12）年4月30日 平生氏の日鉄会長問題、伍堂商相と懇談、就任は陸軍の主張、
小生は反対。
翻刻あり
3 昭和（19）年10月15日 対支対蘇関係を善導するより方法なし。宇垣訪支に噂あり。
翻刻あり
- 41 伊原一郎平**
4月12日 貴族院請願は柴田の努力で通過採択。
前半欠 封筒欠 翻刻あり
- 42 今松治郎**
1 昭和（20）年4月21日 罹災の見舞。静岡県知事退官、二度目の牢人生活に。
2 昭和20年8月2日 郷里に疎開、松山・宇和島も焼曝。
翻刻あり
3 昭和（20）年8月22日 戦争結末遺憾。鈴木前内閣の無策罪万死に値、宇垣の出慮を求
む。
翻刻あり
- 43 彌永克己**
昭和（20）年6月12日 空襲見舞い。安倍能成家族と共に長野に疎開。劉明電にも会見。
翻刻あり
- 44 入沢達吉**
1 昭和15年7月24日 恵贈品への礼。良寛上人の屏風みてほしい。
2 昭和15年8月25日 良寛上人書幅の真贋見立意見一致せず。
- 45 伊礼肇**
昭和23年7月28日 暑中見舞。目下川崎市で野菜作りと養豚。
葉書
- 46 色川俊次郎**
昭和18年9月2日 馳走の礼。申付の義竜作と相談。竜作も来週頃貴地へ、意見開
陳と。
- 47 岩倉道俱**
1 昭和5年1月6日 「軍縮会議の七割主張について」。明日出問通告貴族院へ。
翻刻あり
2 昭和10年5月24日 < 中身欠 >

- 3 3月20日 三十一日錦水へ御来駕を希望。
- 4 18日 産業合理化委員の顔ぶれ。中嶋を排し松岡を取ることに反対。
封筒欠 翻刻あり
- 48 岩田宙造**
- 1 昭和（20）年4月27日 巢鴨宅罹災の見舞。小生内閣顧問拝命。
- 2 昭和20年9月24日 内藤判事優秀、本省も希望。
前半欠 翻刻あり
- 49 岩田博蔵**
- 昭和11年9月14日 長野県警務課長へ転任。地方警視に西村直己推薦。
- 50 岩波茂雄**
- 1 昭和16年1月2日 年賀挨拶。
- 2 昭和20年9月14日 先生喜寿の祝い。教育会長野県支部初代局長藤森省吾死去。
翻刻あり
- 3 昭和（21）年3月3日 文化勲章拝受の祝辞への礼。
活版印刷
- 4 9月7日 高山書店の調査報告。
翻刻あり
- 51 岩波雄二郎**
- 昭和21年9月3日 父岩波茂雄逝去の弔問への礼。
活版印刷
- 52 植原悦二郎**
- 昭和19年2月17日 饗応への礼。
- 53 上山英三**
- 12月31日 追放後は銀行員の就職斡旋に日を過ごす。
- 54 宇垣一成**
- 昭和17年4月27日 野口遵への高配の礼。
翻刻あり
- 55 潮恵之輔**
- 昭和18年2月16日 腸炎見舞状への礼。
- 56 内田孝蔵**
- 1 昭和17年8月13日 軽井沢招待御礼、山中湖畔の様子。

- | | | |
|----------------|---------------|---|
| 2 | 昭和18年7月30日 | 倅準一武者修行に推参、御指導を。 |
| 3 | 昭和18年9月7日 | 倅準一参上の礼、似顔画帰京後御届。 |
| 4 | 昭和20年3月17日 | 熱海内田へ御引移の件承諾。電話の通話禁止阻止につき尽力を。 |
| 5 | 昭和22年10月3日 | 倅縁談の件。 |
| 6 | 昭和（23カ）年5月14日 | お祝い品への礼。 |
| 7 | 昭和23年5月29日 | 準一結婚式、長女妙子結婚式報告。
封筒欠 |
| 8 | 11年8月18日 | 軽井沢招待お礼、河口湖ホテル・富士屋ホテルについての感想。 |
| 9 | 11年8月22日 | 贈答品発送。 |
| 57 梅谷光貞 | | |
| | 大正(15)年7月29日 | 長野県警察署廃合問題、参考書類送付。騒擾事件、内務当局に可成速に説明。
封筒欠 翻刻あり |
| 58 浦水菊三 | | |
| | 昭和 年1月5日 | 年始挨拶。
葉書 |
| 59 江木翼 | | |
| 1 | 昭和17年2月16日 | 病状報告。
翻刻あり |
| 2 | 昭和17年2月21日 | 病気見舞、病状報告。
葉書 翻刻あり |
| 3 | 3月5日 | 病状報告。
翻刻あり |
| 4 | 8月10日 | 避暑静養報告。 |
| 60 江口定條 | | |
| 1 | 昭和14年5月3日 | 如水会館会合通知、独伊との軍事協定問題。
翻刻あり |
| 2 | 昭和15年1月23日 | 見舞状。 |
| 3 | 昭和 年11月25日 | 先夜の小会に同席快心。 |

61 海老塚四郎兵衛

4月7日

東洋医学効用あり、荒木正胤適任。

62 海老塚的行

4月11日

荒木正胤邸訪問の予定。

63 大浦兼武

- 1 大正（4カ）年 月29日 交渉委員御当選小生も満足。大審院の方江木翼宛電報あり。
翻刻あり
- 2 大正5年12月31日 久保田政周内務次官更迭と後任について。
翻刻あり
- 3 大正6年9月27日 例の一件下岡氏と相談の結果御内報拝承、一木氏に良案なきや。
翻刻あり
- 4 大正6年9月30日 東京市長選定問題、久保田政周、早稲田大学長選考問題、学制調査会。
翻刻あり
- 5 大正6年11月7日 例の市長問題、若槻より久保田推薦、大審院開廷。
翻刻あり
- 6 大正6年11月17日 例の市長問題、久保田・一木の入院尽力結構。
翻刻あり
- 7 大正（6）年12月10日 大阪の方は好都合一先安心、西京の方は遺憾。
封筒欠 翻刻あり
- 8 大正7年1月11日 例の一件一方に意外の進行、田は最初辞爵を約束、一木と宮相会見。
翻刻あり
- 9 大正7年2月20日 意外の出来事唯々敬憚・遺憾千万。
後半欠 翻刻あり
- 10 大正7年5月20日 地方官表送付お礼、例の難問題一木博士の方云々敬承、太田氏来訪。
翻刻あり
- 11 大正7年8月2日 横浜市長選定問題、久保田政周来訪、浜尾男より相談受けた由。
翻刻あり
- 12 大正7年8月11日 横浜市の方全会一致、優遇策も好都合欣賀。
63-13を同封 翻刻あり
- 13 大正（7）年（8）月22日 天下騒然痛歎、永遠の策を講究する事肝要。
63-12に同封 翻刻あり
- 14 大正7年8月29日 上院各派議員一致政府に警告纏る、総代の人物心細き感あり、政界混沌。
翻刻あり

64 大久保利賢

- 1 昭和18年3月23日

横浜正金銀行頭取辞任挨拶。

- 2 12月25日 小野・高橋両家結婚式報告。
- 65 大倉彖馬**
昭和23年2月25日 伊予上代史研究に微力を注ぐ。安倍能成の援助願う。
- 66 大島健一**
昭和(21)年5月7日 枢密顧問官退官挨拶。
- 67 太田政弘**
- 1 昭和4年2月9日 帝都治安に関する決議案各派に分配、優詔問題に関して極秘会談開催。
翻刻あり
- 2 昭和5年4月24日 平山身上の件水産組合に採用、枢府の件打開の由欣喜。
翻刻あり
- 3 昭和(6)年(2)月 霧社事件顛末。
(付)新聞切抜「霧社事件の顛末(一)」(台湾日日新報)
翻刻あり
- 4 昭和(6)年(2)月 総督の女問題、新聞記者買収問題、霧社事件、台南司法官流職事件。
封筒欠 翻刻あり
- 5 昭和6年12月30日 塚本辞表提出遺憾、小生は自重、議会解散必、選挙結果を見て進退。
67-6を同封 翻刻あり
- 6 昭和(7)年1月27日 小生身上に関し御高配深謝、総務長官休職事由糺問書提出、上京予定。
67-5に同封 翻刻あり
- 7 昭和17年8月11日 平山来訪、石塚逝去意外、後任希望。
翻刻あり
- 8 昭和18年5月8日 小生身上の件欠員の生じた場合高配望む。
翻刻あり
- 68 大平駒槌**
- 1 昭和(2)年5月10日 大平進退問題、安広社長退任問題、臨時議会無事終了万歳。
翻刻あり
- 2 昭和4年11月21日 伊澤の中国訪問鶴首、仙石病氣回復、小橋事件心配。
翻刻あり
- 3 昭和5年3月23日 満鉄人事問題。
翻刻あり
- 69 大谷五平**
- 1 昭和(20)年6月27日 空襲罹災見舞。
- 2 昭和(21)年8月20日 議員辞職、補欠に橋本氏出馬。
翻刻あり

70 大塚惟精

昭和14年8月14日

ゴルフ欠席。
葉書

71 大坪保雄

1 昭和20年3月6日

伊那高等農林、長野県翼壮団長改任、中部横断鉄道即成、鳥居川水利。

翻刻あり

2 昭和20年5月30日

信濃宮造宮奉賛会総裁副総裁、長野県国民義勇隊人事、東大植物学教室移転。

翻刻あり

3 昭和（20カ）年7月3日

京浜在住外国人軽井沢収容の件。

翻刻あり

72 大場鑑次郎

1 昭和（9カ）年9月8日

軍人の政治活動と憲法との関係、美濃部博士説。陸軍治安維持責任有無、議定書写進呈。

「議定書写」なし 翻刻あり

2 昭和（10カ）年10月21日 住友煙害問題、調査廃止と賠償金寄付金の区別撤廃意見提示。

翻刻あり

73 岡正雄

1 昭和12年8月30日

新潟出向の断り状。

2 昭和21年11月27日

就職斡旋依頼。

3 昭和（22）年4月17日

「慰霊祭典に付て（舌代）」取急ぎご高覧に供し度。

翻刻あり

74 岡実

1 昭和11年8月31日

軽井沢に行けず残念。

2 昭和11年9月4日

病氣見舞お礼。

75 岡田宇之助

1 昭和（20）年4月19日

空襲罹災見舞。

2 昭和22年1月1日

年始状。

3 昭和（22）年8月18日

浅間山爆発見舞、妻逝去見舞礼状。

4 昭和23年1月31日

順天堂の佐藤老人来訪、同窓との噂を聞いた。

76 岡田周造

- 1 昭和(9)年(9)月 別紙進呈。
(付)「伊沢多喜男建碑ニ関スル件内申」(高発第41号昭和9年9月10日)、「龍水伊沢先生頌徳碑建設趣意書」(昭和8年) 翻刻あり
- 2 昭和10年3月27日 長女結婚祝品贈答お礼。
- 3 昭和(11)年3月10日 衆議院選挙結果各種統計送付。
「統計」なし 翻刻あり

77 岡田文秀

- 1 昭和(8カ)年11月29日 告発事件不起訴決定、省内の誤解遺憾、千葉県民には非難なし 翻刻あり
- 2 昭和9年11月28日 いずれ衛生行政その他の意見拝聴したし。
翻刻あり
- 3 昭和(15カ)年12月25日 近衛内閣新体制運動の方向痛嘆、企画院と法制局の人事一新必要、身命を国家に尽くしたし。
翻刻あり
- 4 昭和(19カ)年4月29日 熱帯の地より帰還、海軍司政長官退官予定につき勅選議員推薦を得たい。
翻刻あり
- 5 昭和(20)年4月21日 空襲罹災見舞、新内閣成功を祈る。
- 6 昭和21年12月6日 長男純男結婚挨拶。
- 7 昭和22年6月29日 長男純男嫁の外祖父佐藤とは深き御友交の間柄と承る。

78 岡田良平

大正(12)年10月10日 新潟市長柴崎雪次郎の意見書転送。
(付)「火災保険金支払ノ不可」柴崎雪次郎 翻刻あり

79 小倉正恒

- 1 昭和3年7月15日 住友製鋼所争議解決祝辞お礼。
翻刻あり
- 2 5月1日 高木玄三郎川崎市長立候補推薦お礼。
翻刻あり

80 尾崎敬義

昭和5年12月22日 財界の神経衰弱、政界波瀾警戒、浜口首相再起必要、満鉄首脳不満。
翻刻あり

81 小高親

- 1 昭和18年4月7日 帝国酸素常務辞任挨拶、交易営団に就職のつもり石田礼助に話す。
封筒欠 翻刻あり

- 2 昭和（18）年4月13日 石田総理事に面会お礼。
封筒欠
- 82 小畑忠良**
昭和20年3月8日 面会お礼。
368を同封 翻刻あり
- 83 小原直**
1 昭和11年九月9日 貴族院院内所属しばらく静観して態度決めたい。
翻刻あり
2 4月11日 飯田市役所で準備会開催、浜松市は豊橋ほど熱心でない。
封筒欠 翻刻あり
- 84 柯文徳**
昭和6年3月1日 台湾総督府理事官への就職斡旋依頼。不可能なら電力会社へ。
翻刻あり
- 85 香川熊太郎**
昭和4年9月25日 民政党入党の件、やむをえず入党届撤回了承願う。
翻刻あり
- 86 梶井剛**
1 昭和20年5月15日 空襲罹災見舞。
2 昭和22年8月15日 小林知事への書簡送付お礼、後援会発足見込。学校財政苦慮。
翻刻あり
- 87 片岡直方**
昭和（21）年6月5日 小林書記官長に面会、会派所属の儀約束反故にて申し訳なし。
翻刻あり
- 88 片岡直温**
昭和8年1月5日 著書送付。
翻刻あり
- 89 片倉兼太郎**
昭和（14カ）年8月14日 多額議員選挙順調に進行。
翻刻あり
- 90 片倉五郎**
昭和22年1月22日 父逝去弔問お礼。
- 91 片山広斗**
昭和11年8月25日 庶政一新、気合を入れてシャンシャンとやって欲しい。
- 92 片山義勝**
昭和4年七月9日 弟片山三郎保護依頼、伊澤の朝鮮総督または満鉄総裁就任期待。
封筒欠 翻刻あり

- 93 **桂作蔵**
昭和21年12月25日 欠礼挨拶。
翻刻あり
- 94 **加藤完治**
昭和17年12月25日 北中国視察帰りの職員に面会お願い。
翻刻あり
- 95 **加藤高明**
大正6年8月27日 軽井沢別荘の土地と値段について。
- 96 **金岡又左衛門**
1 昭和（11）年7月20日 退職積立金法実施準備委員会委員了承。電力国営問題。
翻刻あり
2 昭和11年7月25日 退職積立金手当金施行調査委員会報告、新聞切抜同封。
（付）新聞切抜「最低標準賃金の引上を要望
退職金両法施行調査総会で」（大阪毎日新聞
昭和11年7月25日） 翻刻あり
- 97 **上條憲太郎**
10月17日 病氣見舞、控訴取り下げ服役を決意。
- 98 **上山満之進**
1 大正15年7月14日 首相より貴兄の後任（台湾総督）を勧められ承諾。
370-1とともに485に同封 翻刻あり
2 大正15年10月21日 浜口よりの電報で（東京市長）御辞意動かしがたしとのこと、
残念。
485に同封 翻刻あり
3 昭和（2カ）年8月30日 調査書お礼、台湾人事問題、引き続き在任が台湾のためになると確信。
翻刻あり
4 昭和3年3月7日 浜口引退は事実か。台湾大学令閣議通過安心。
翻刻あり
5 昭和3年7月24日 伊豆行の予定、小野塚夫人の件。
- 99 **賀屋興宣**
1 昭和13年12月23日 貴族院所属会派研究会に決定。
翻刻あり
2 昭和18年7月12日 塩糖会社の更新出発願う、新社長に田口氏に決定事情。
（付）メモ（劉明電名刺に書込） 371を同封 翻刻あり
- 100 **萱場軍蔵**
1 昭和18年7月29日 欠礼詫状。

- 2 昭和20年9月5日 欠礼詫状。
- 101 唐沢俊樹**
- 1 昭和6年8月17日 近藤氏の件は本人の人物と次田次官の御裁定の結果。
翻刻あり
- 2 昭和11年9月1日 軽井沢訪問お礼、内務省員ゴルフの結果。
- 3 昭和18年6月25日 都長官人事難航だが第一矢命中、塩水港の方の情報入手。
翻刻あり
- 4 昭和20年4月19日 空襲罹災見舞
- 102 唐沢信夫**
昭和22年3月4日 黒河内からの電話で失望、しかし心境を拝察。勝田重太郎氏参院選出馬。
翻刻あり
- 103 河井重蔵**
大正12年11月1日 帝都復興意見、人口密集を避けるべき。米の精白調査報告。
一部欠 翻刻あり
- 104 河井昇三郎**
- 1 昭和12年12月19日 別子における功績、住友として謝すべき。
(付)小倉正恒書簡(鷺尾勘解治宛、12月9日) 鷺尾勘解治書簡(伊沢多喜男宛) 翻刻あり
- 2 1月2日 年賀状、住友重役昇進挨拶。前山喜三郎囑託の待遇。
- 3 4月10日 志郎・公ニ元気、紀文化学院受験許可。龍作の大阪転勤の件。
封筒欠
- 4 5月1日 台湾行、白勢氏の紹介を求む。龍作転勤の件。
封筒欠
- 5 9月12日 病状報告、別子渡辺吾一煙害関係で拝参。
翻刻あり
- 105 河井弥八**
- 1 大正15年8月24日 酒井伯と談話、研究会最高幹部の行動を非とし近衛公の自重を切望とのこと。
翻刻あり
- 2 昭和4年7月9日 政務官選任・地方官更迭進捗、満鉄総裁大平適当、松岡氏も推賞。
翻刻あり
- 3 昭和(11)年8月27日 小生身上(勅選推薦)に関して白根次官・一木の談話。
翻刻あり
- 4 昭和12年1月9日 林中将の意見書前便にて送達。
翻刻あり
- 5 昭和12年9月15日 小生身上(貴族院勅撰)徳川公爵の推薦有望。
翻刻あり

- 6 昭和（20）年1月18日 病氣見舞御礼、元侍医高橋信紹介。
- 7 昭和21年8月19日 長野県立農林学校長村上明彦より報徳講和依頼、同成会寺尾参加。
葉書 105-8に同封 翻刻あり
- 8 昭和21年9月13日 佐藤助九郎氏家屋使用の件、憲法審議容易ならず、同成会全員編成。
105-7を同封 翻刻あり
- 9 昭和（21カ）年9月16日 憲法委員会への批評もつとも、参議院紛雜免れがたし、伊那農林出講。
葉書 翻刻あり
- 10 昭和（21カ）年9月20日 佐藤氏新築家屋、橋本義右衛門入会、同成会懇親会日程。
翻刻あり
- 11 昭和22年4月22日 今度の選挙お陰で当選。
翻刻あり
- 12 昭和（22カ）年8月28日 昨年新聞課長Imboden少佐掛川の大日本報徳社に来訪時の様子。
翻刻あり
- 13 昭和（22）年10月16日 甘蔗参議院食堂に陳列、首相・進駐軍も来観。
封筒欠（付）「食料自給論」 翻刻あり
- 14 昭和22年11月3日 両院にて甘蔗展示、農林常任委員会の行動を求む。
葉書 翻刻あり
- 15 昭和22年11月3日 小生後継者、東大農学部助教授神谷慶治氏最適任。甘蔗増産の事。
葉書 翻刻あり
- 16 昭和（23）年10月11日 妻逝去弔電御礼。

106 河合良成

昭和12年12月 時局観。

107 川上親晴

- 1 昭和（12）年8月16日 日支問題所感。
翻刻あり
- 2 昭和15年12月27日 枢密顧問官就任祝。
封筒欠

108 川崎卓吉

- 1 大正8年8月24日 総督病氣、警務局の動揺。朝鮮は上下一新、明日より南部視察。
翻刻あり
- 2 大正8年9月19日 水野より交渉の件につき指示感謝。斉藤、明石、下村、赤池、丸山も協議、内務、警務局長人事。福島県庁政友会蹂躪。
翻刻あり
- 3 昭和（3）年9月13日 民政党内の紛擾、相当の金力を要す。浜口総裁全然回復の由。
翻刻あり
- 4 4年8月30日 御令孫御三男死去お悔やみ。

- 5 4年8月31日 <中身欠>
- 109 川島浪速**
昭和23年1月26日 養女芳子に就て深く御同情被下感銘。
(付)新聞切抜「芳子を語る川島浪速翁」(信濃毎日
昭和23年1月11日) 374を同封 翻刻あり
- 110 河村金五郎**
8月28日 広瀬久忠任官に就て御配慮を煩し感謝。
翻刻あり
- 111 菊池慎三**
昭和18年1月1日 年賀状。
葉書
- 112 岸衛ほか**
昭和13年6月 熱海分福温泉土地組合解散再編につき参集案内状。
封筒欠
- 113 喜多六平太**
大正14年7月3日 大村武引見依頼。
翻刻あり
- 114 北原孝三郎**
7月2日 本俸交際費決定。ご配慮の趣一同欣悦。
封筒欠
- 115 木下信**
- 1 昭和17年7月20日 東京市長後任の件、吉永警視總監に面会。本日大久保市長と三助役辞表提出。後藤翼賛会事務総長訪ね、首相秘書官赤松氏への紹介状頂く。
翻刻あり
 - 2 昭和(19)年11月14日 伊那電の国有問題、閣下より工作願う。別紙創立委員会議録訂正分送付。陳情書案加筆訂正願う。
「別紙」なし 翻刻あり
 - 3 昭和(22)年2月16日 参議院議員選挙御出馬の御意向如何。唐沢信夫の事業、三月中旬には初号発刊。
翻刻あり
 - 4 昭和(22)年3月8日 参議院議員御出馬断念残念、公職追放者多数遺憾。
封筒欠 翻刻あり
 - 5 昭和(11カ)年8月31日 台湾官界の綱紀弛緩甚し。高遠閣・閣下頌徳碑の件。
封筒欠 翻刻あり
- 116 草野豹一郎**
昭和(12カ)年1月31日 復もや組閣難、帝人事件に無関係なる者として立石名古屋控訴院長が大臣に最適任。
翻刻あり

- 117 **久保無二雄**
昭和2年9月 1 日 甥就職に付き御尽力感謝。
- 118 **久保田政周**
1 大正7年8月16日 米価問題にて各地騒擾、横浜市長の件承諾。優遇問題の件、御
確め被下候はば幸。
(付)メモ[一木・有吉・江木・加藤等との交渉顛末] 翻
刻あり
2 大正7年11月19日 例之件佐々木氏に於て精々御尽力中の由。
翻刻あり
- 119 **久保田讓**
大正14年5月31日 豊岡地方震災御見舞芳情多謝。秩父宮台湾御巡遊。
翻刻あり
- 120 **久米孝蔵**
昭和17年12月14日 小生進退の件、ご高配感謝。十二日朝津田氏と会見、同氏長谷
川総督と会見のうえ引受は打ち切ることに決定。
翻刻あり
- 121 **来栖三郎**
1 昭和21年11月25日 無沙汰詫び。旧軽井沢区長佐藤君辞任。
2 昭和22年1月2日 前田多門氏来訪。軽井沢会の指名委員受諾。
翻刻あり
3 昭和22年1月26日 書き物に対する御高見感謝。公表は見合わせる。
翻刻あり
- 122 **黒河内太門**
昭和20年4月25日 空襲罹災見舞。
- 123 **黒沢富次郎**
昭和21年12月12日 今般貴族院議員補欠選挙に際し御推挙を蒙り感謝。
(付)伊沢多喜男ほか3名(連名)書簡(昭和21年12月11
日付 黒沢富次郎当選御礼) 翻刻あり
- 124 **黒田長和**
昭和6年11月14日 御出翰落手、愉快に拝誦。
翻刻あり
- 125 **呉三連**
1 昭和17年11月14日 最近の華北統制経済。敵地区に対する封鎖嚴重。商業活気に乏
しい。
翻刻あり
2 昭和20年1月3日 帰京の際の御教示御礼。無事着津。
葉書 翻刻あり

- 3 5月18日 三年前天津より台湾に帰来。蔡培火ら立法委員として中央政界に活躍。
翻刻あり
- 126 香坂昌康**
- 1 昭和3年2月11日 演説要旨。
- 2 昭和5年11月21日 陸軍特別大演習並に地方行幸も無事終了。
翻刻あり
- 3 昭和20年8月15日 終戦感想。
- 4 昭和（8カ）年2月28日 先日電話にて依頼の大島に関する冊子別便にて送付。
翻刻あり
- 5 大正（9カ）8月7日 生駒氏の件。青年指導の適任者。
翻刻あり
- 127 高村坂彦**
- 1 昭和（20）年6月25日 大阪に転任を命ぜられ空襲下の治安確保に精進。
翻刻あり
- 2 昭和22年9月22日 国際連盟に於ては米ソ対立愈々表面化
翻刻あり
- 128 郡山義夫**
- 1 昭和18年6月12日 上伊那農業学校等林創設への寄附感謝、翼壮団長問題、大糸線開通促進問題等。
翻刻あり
- 2 昭和18年7月30日 大糸線開通促進に付一方ならぬ御高配を賜り感佩。鉄道当局依然として強硬に取片方主張。
翻刻あり
- 3 昭和（22カ）年3月16日 第一回の公選知事選。物部氏出馬、小林氏は出馬せず残念。
翻刻あり
- 4 昭和（22）年5月1日 参議院議員に木内四郎、衆議院議員に増田甲子七当選。知事選挙林氏当選。
翻刻あり
- 5 昭和22年7月30日 暑中見舞。
- 6 昭和22年8月16日 信濃毎日新聞社の伊東淑太氏に貴慮伝言、その内訪問。
翻刻あり
- 129 小坂順造**
- 1 昭和11年11月18日 貴革委員初会議に列席、黒田、小野塚、次田、渡辺ら発言要旨。
翻刻あり
- 2 昭和（13）年1月20日 政局意見。
翻刻あり
- 3 昭和16年4月20日 見舞御礼。

- 4 昭和21年10月8日 健康祈詞、同成会一同連名。
- 5 昭和22年2月20日 長野県知事公選につき、自進両派の懇談会、物部、小林両候補の動向。
翻刻あり
- 6 昭和22年3月13日 小林次郎立候補を勧誘。今後の方策。
(付)伊沢多喜男書簡(草稿か) 翻刻あり
- 7 昭和22年3月21日 小林、物部候補の動静。
翻刻あり
- 8 9月19日 月末陛下新潟県御巡幸の際、直江津町の小生経営工場御巡視の
光栄を得る由。
翻刻あり
- 9 10月24日 13日夜行帰京、幣原吉田両先輩にも面会。山本男鎌倉にて老
病、最早回復困難。
葉書 翻刻あり
- 130 小坂武雄**
- 1 昭和7年1月2日 若槻内閣の崩壊アツケなく民政党の将来心細し。
翻刻あり
- 2 昭和9年9月7日 貴文章をほとんどそのまま八日朝刊に掲載。高遠町長困るだろ
う。
- 3 昭和9年9月13日 高遠公園頌徳碑に関する貴文章を返却する。新聞切り抜き同封。
(付)新聞切抜「伊沢多喜男頌徳碑不折画伯が刻書」(昭
和9年9月5日)「頌徳碑建立と伊沢さんの心事」(昭和9年9
月7日) 翻刻あり
- 4 昭和17年4月13日 衆議院総選挙弁士推薦依頼。
翻刻あり
- 5 昭和20年6月29日 弔問御礼。
- 6 昭和21年12月19日 知事公選、小林、物部両候補、北信・南信の動向報告。
翻刻あり
- 131 古島一雄**
- 1 昭和15年3月13日 見舞い状感謝。時局所感、政党の腑甲斐なさに呆れる。
翻刻あり
- 2 昭和17年7月9日 時局所感、品川以来の陰險的暴挙にかかわらず、衆院、言論界
ふがいなし。
翻刻あり
- 3 昭和 年6月4日 此状持参手塚健蔵氏御引見希望。
- 132 小瀧彬**
- 昭和 年9月6日 手紙御礼、近況

- 133 小竹無二雄**
昭和(20カ)年7月16日 能登海岸一寒村に製造に着手。石川県知事紹介依頼。第六陸軍技術研究所長小柳津中将を頼み。
翻刻あり
- 134 五島慶太**
昭和19年4月18日 今度の人事に就て称讃を辱うし感謝。
翻刻あり
- 135 後藤新**
昭和 年10月8日 上伊那郡高遠町及下伊那郡大鹿村大河原間の道路の通行状況。
封筒欠
- 136 後藤治子**
昭和 年3月30日 巢鴨より便りあり。その後七回面会。
封筒欠
- 137 後藤文夫**
- 1 大正(15カ)年7月22日 阿片、電力会社、林糖問題、台南高商問題等。渋沢大橋両氏へ挨拶。
封筒欠 翻刻あり
 - 2 昭和2年9月24日 上山総督と小生進退の事。勸銀支店長久米君進展の途なきや御配慮度切願。
翻刻あり
 - 3 昭和4年8月20日 御電話の件朝日・報知に申込置候。掲載なきときは朝日に交渉。
翻刻あり
 - 4 昭和5年2月5日 阿片特許問題、執筆断絶申訳無之。生駒君より別紙(阿片問題関係法案ほか)。
(付)生駒高常書簡(後藤文夫宛、2月4日付)/[阿片問題意見](2種) 翻刻あり
 - 5 昭和(5)年9月2日 枢府にて海相に質問集中。委員外顧問官の態度有利に導き置く好時期。
翻刻あり
 - 6 昭和 年5月17日 無沙汰詫び。
 - 7 昭和(2カ)年10月6日 台湾中等学校長会議、石黒文教局長熱心。東京にて小生の更迭を中心として宣伝あり。
翻刻あり
- 138 小西謙**
昭和22年8月29日 信州教育振興に関して今後も御高教賜り度。
翻刻あり
- 139 近衛文麿**
12日 招宴御礼。本日粗餐用意、河井君同道御来臨を得は光栄。
封筒欠 翻刻あり

140 小橋一太

- 1 昭和7年10月14日 小生その後専ら静養。
翻刻あり
- 2 昭和9年7月4日 岡田大将に大命降下、黒田長和を閣僚に推薦。
翻刻あり
- 3 11月5日 御寵招深謝。
- 4 12月1日 卑見別冊差出。本日招宴。
翻刻あり

141 小林芳郎

- 1 昭和4年10月23日 司法事務に関する事、坂本大田黒二氏身上の事、ご配慮感謝。
減俸問題私見。
- 2 昭和5年9月17日 枢密院条約批准問題、浜口は若槻の二の舞を為す事は可無之。
枢府廓清に猛進せられたし。
翻刻あり

142 五明忠一郎

昭和23年8月22日 御礼。

143 薦田経太郎

昭和20年5月28日 空襲罹災見舞。

144 小柳牧衛

- 1 昭和(12カ)年5月2日 立候補当選につき御礼。
翻刻あり
- 2 昭和(12カ)年8月26日 新潟市長選挙につき、黒崎、千葉、小幡、高橋、高雄、岡正雄、
大久保留次郎ら動静報告。
翻刻あり
- 3 昭和(12カ)年8月31日 新潟市長の件につき一昨日黒崎氏を訪問。横山、岡。
翻刻あり
- 4 昭和(14)年9月15日 飯塚氏入会の件につき内藤氏訪問。同氏は研究会に入会を希望。
丸山鶴吉に面会。
翻刻あり
- 5 9月6日 御高説拝聴感謝。

145 近藤駿介

昭和11年8月20日 赤石山払下問題。近く上京三矢長官に懇願。
翻刻あり

146 蔡培火

- 1 昭和6年6月16日 台湾白話字についての報告。
(付)新聞切抜「台湾白話字普及運動」(民報 昭和6年5月2
3日)、「新式台湾白話字々音與其用法」 翻刻あり

- 2 昭和17年2月17日 「必要のとき天のれを給ふ」(伊沢談話の聞き書き原稿)
封筒欠 翻刻あり
- 3 昭和20年2月3日 南京政権の信用落ち、大改造必要。
翻刻あり
- 4 11月8日 キリスト教・儒教の成句の調査報告。
封筒欠 翻刻あり
- 147 斎藤善八**
昭和7年8月11日 多額議員互選の義、小生今度は引退の事に決意。
翻刻あり
- 148 斎藤隆夫**
- 1 昭和15年12月27日 枢密顧問官就任祝詞。
封筒欠 翻刻あり
- 2 昭和20年5月21日 空襲罹災見舞い。
381を同封 翻刻あり
- 3 11月21日 見舞い御礼。議会制度審議会、政、民両党の委員は全く意気地なく。
封筒欠 翻刻あり
- 149 坂口昂**
- 1 大正11年1月22日 恵贈御礼。
封筒欠
- 2 大正15年7月23日 辺南鎮護の重任祝詞。
- 150 坂田幹太**
- 1 昭和3年4月25日 国民新聞社より記事取消の詫び状が来た。三品取引所理事長人物評。
翻刻あり
- 2 昭和3年7月22日 留岡組、進駐軍の工事は一段落。鉦山関係者への紹介希望。
(付)[東京土木建築業者施行実績] 382を同封 翻刻あり
- 3 昭和3年8月31日 近日中村社長訪問予定。
翻刻あり
- 151 坂野鉄次郎**
- 1 昭和(7)年9月13日 多額納税者議員当選御礼。
翻刻あり
- 2 昭和7年10月6日 貴族院所属の件は、貴命に従うこと困難。
翻刻あり
- 3 昭和11年9月19日 今井田氏勧誘御下命の件、近日宇垣大将帰省の筈、同大将を通しても依頼。
翻刻あり
- 4 昭和(12カ)年4月11日 宇氏の件其後一向様子も判らず。撰挙戦何れの方面も軍用金ニは大困却。
翻刻あり
- 5 昭和16年12月27日 <中身欠> 封筒のみ

- 6 昭和20年2月24日 玉章久し振りに拝受、難有感銘。
- 152 阪本鈇之助**
- 1 昭和（6カ）年12月7日 叙勲につき尽力願ひ。
152-2に同封 翻刻あり
- 2 1月13日 御厚配願上候一件は順当に進行、陸海両相並びに森氏へ徳川社長より催促。
152-1を同封 翻刻あり
- 153 昌谷彰**
- 昭和17年8月30日 貴稿改作延引につき催促を受け恐縮。
翻刻あり
- 154 昌谷麟三**
- 10月21日 父死去の報告。
- 155 桜内幸雄**
- 昭和(20)年5月3日 空襲罹災見舞ひ。
翻刻あり
- 156 佐々木隆興**
- 1 昭和16年9月24日 康東病院婦人科主任秦氏宛紹介状送付。
- 2 8月14日 軽井沢よりの御懇書難有拝誦。
- 157 佐竹義文**
- 昭和22年7月1日 無沙汰詫び。
葉書
- 158 佐藤助九郎**
- 1 昭和(20カ)年7月19日 日本海船渠は今回戦局重要性に鑑み全面的に借上、無条件国家に応召。
翻刻あり
- 2 昭和23年1月1日 賀詞。
- 159 佐藤清一**
- 昭和(22カ)10月2日 伊沢秘蔵品恵与御礼。伊東市初の市会議員選挙。
- 160 佐藤尚武**
- 1 昭和22年8月29日 緑風会は政情の安定勢力たるべく努力。
翻刻あり
- 2 昭和 年8月27日 招待欠礼挨拶。
翻刻あり

161 沢田竹治郎

- 1 昭和18年4月16日 遠藤長官後任人事の件。定年制の件。
翻刻あり
- 2 昭和22年1月31日 諸橋君に相談、賞勲局官制と内閣顧問府官制案の構想木村法相に伝えた。
翻刻あり
- 3 昭和 年1月12日 引見御礼。
- 4 9月10日 <中身欠> 封筒のみ

162 三応無品

- 昭和17年12月7日 病氣見舞い。
葉書 翻刻あり

163 塩川三四郎

- 昭和（4）年7月6日 民政党内閣成立、広島県知事川渕洽馬氏就任。我藝備銀行は県金庫を担当、同知事への紹介依頼。
翻刻あり

164 重松宣雄・藤村信雄・平沢和

- 昭和19年1月28日 卑見同封、面会希望。
「卑見」なし、封筒欠

165 幣原喜重郎

- 1 大正（14）年6月10日 現内閣に関係なき植民地長官は至難。引続現任務の為努力を。
翻刻あり
- 2 大正15年8月12日 東京市長御就任は已むを得ず。奮然挺身難局に当たるも一快事。
翻刻あり
- 3 昭和（3カ）年10月21日 故加藤伝記編纂委員会開催通知。
封筒欠 翻刻あり
- 4 昭和7年6月1日 斎藤内閣組織に付老兄御助言着々実現。小生病患の為議会欠席。
翻刻あり
- 5 昭和7年8月4日 過日原田氏来訪。大平氏勅選の件。十分慎重な考慮を要す。
384-1を同封 翻刻あり
- 6 昭和12年6月4日 中外輿論通信の記事御慰み迄御目にかかけます。
「記事」欠 翻刻あり
- 7 昭和（12）年9月30日 蔡焘火氏『東亜の子かく思ふ』敬聴すべきもの少なからず。
翻刻あり
- 8 昭和13年2月10日 松本氏の王安石論面白く披読。茲に返却。
翻刻あり
- 9 昭和17年1月7日 ワシントン海軍条約日英米廃棄艦噸数比較表貴覧に供す。
（付）「華府條約実施状況一覧」 翻刻あり
- 10 昭和（18カ）年8月20日 数日中に御陪餐参殿の予定。伊東往訪は延期已むなし。
消印は18年または13年 翻刻あり

- 11 昭和(20)年4月21日 西巢鴨貴宅類焼傷心の至に堪えず。戦禍の惨状眉を顰め居候。
翻刻あり
- 12 昭和20年9月2日 皇軍無条件降伏は痛恨の極み。
(付)「終戦善後策」 翻刻あり
- 13 昭和(21)年4月7日 貴諭逋信省復活案は選挙結果判明まで見合すよう司令部希望。
松前総裁の辞表聴許。
翻刻あり
- 14 昭和(21カ)年5月9日 昨日電話の榎橋氏の読売新聞社告訴状写貴覧に供す。
翻刻あり
- 15 昭和22年6月2日 今次政局紛糾。自分の理想と現下世情は距離。民政党名誉総裁
は辞退。
翻刻あり
- 16 昭和 年12月18日 青森県栽培のインデアナ種苹果御目にかげ度。

166 幣原坦

- 1 昭和(7カ)年7月1日 文政学部長村上辞任、安藤正次任命。
翻刻あり
- 2 昭和(9カ)年5月7日 台日紙の記事は児戯に類する。医学部開設準備で多忙。
翻刻あり
- 3 昭和10年4月28日 台北大学について台日新聞種々書き立てるも至極平静。
翻刻あり
- 4 昭和10年6月4日 御礼、和歌四首。
- 5 昭和(11)年8月15日 開学式後の退官を願うが、容易に承諾得られず。総督更迭の噂。
翻刻あり
- 6 昭和11年9月2日 中川前総督に辞職許されず、辞表返される。
翻刻あり
- 7 昭和(12)年2月28日 総督府の大学に対する態度は依然良好。大学の基礎牢固。
翻刻あり
- 8 昭和(12)年10月3日 今回辞任。後任は三田医学部長。
封筒欠 翻刻あり
- 9 昭和(13)年12月1日 藤井氏より佐々醒雪人物操行血統御回送。
(付)調査書(藤井乙男より幣原宛) 翻刻あり
- 10 昭和(20)年4月20日 罹災見舞。
翻刻あり
- 11 昭和20年7月30日 ポツダム宣言、主権を認める限り勝手は出来ぬ。スターリンの
挙動囑目に値。
翻刻あり
- 12 昭和21年7月22日 弟は文相との打ち合わせを約する。今日の状態静観すべきか。
翻刻あり
- 13 昭和(21)年10月10日 来週より最後の憲法審議会。来年四月憲法の記念祝典あり。枢
府は廃止。
翻刻あり

- 14 昭和(22カ)年1月9日 恩賜の鴨、感激。帰国の勅許を蒙るも交通地獄のため不可能。
年は切手による 翻刻あり
- 15 昭和22年5月6日 警官の配慮により無事乗車。戦破れて唯堅忍。
翻刻あり
- 16 昭和22年8月30日 国際貿易の開始は国民の愁眉開くも、価格は失望の感あり。
翻刻あり
- 17 昭和23年4月9日 追放の番来た。枢府入の際はマ司令官喜んで承認。規則変更か。
(付)幣原坦電報(伊沢宛5月27日)、「書蘇東坡東遷図後」
翻刻あり
- 18 昭和23年12月19日 学生援護協会長の義、中に立つ人容易に承諾せず。
翻刻あり
- 19 昭和24年5月30日 病気見舞。
- 20 1月31日 御進講のお召出には当地の人々感激。
翻刻あり
- 21 1月12日 拝借英文草稿極めて有益。台北帝大言及に深謝。
- 22 4月15日 大学への恵贈の書「伊沢修二先生」貴重。大学組織説明を重ねる。
翻刻あり
- 23 9月7日 安藤氏来宅、上条氏心配なし、桂氏引っ掛かり候由。
- 24 11月18日 郷里をあけて滞京し難く、一まず妻を帰国せしむ。
- 25 年月日不詳 安藤氏小生の病床に来訪、前後策は私等にて引受申上度と述ぶ。
封筒欠
- 167 柴田家門**
大正(6)年5日3日 令兄永逝の趣驚愕仕候。
封筒欠
- 168 柴田善三郎**
- 1 昭和(5カ)年1月3日 辞職云々の記事は意外にセンセーションを惹起。辞職勧告の事
実は無之。
翻刻あり
- 2 昭和5年3月15日 御指示により内相・首相に面会。親任官待遇は余りの意外にて
夢心地。
翻刻あり
- 3 昭和6年6月15日 今回満鉄総裁並び朝鮮総督異動は期待外れ。
翻刻あり
- 4 昭和7年1月3日 議長らの留任運動却って迷惑。
翻刻あり
- 169 島田三郎**
大正(3~4カ)年5月1日 救世軍大佐山室軍平紹介。
翻刻あり

170 清水重夫

- 1 昭和（2）年3月20日 憲本連盟の大芝居、作者は閣下との風評。次期首領は浜口氏か床次氏か難問題。
翻刻あり
- 2 昭和（18）年1月31日 民政部をバリ島シンガラヂャーに移転。当地方の状勢は容易ならざるもの有之。
翻刻あり
- 3 昭和21年7月24日 増田甲子七が郷里より知事公選出馬の場合、御諒解と御支援願う。
翻刻あり

171 下岡忠一

- 昭和21年12月5日 南方より無事帰還。日本銀行に復帰。
翻刻あり

172 下岡忠治

- 大正6年8月5日 <中身欠>
封筒のみ

173 下岡松

- 10月30日 果物頂戴の御礼。下岡忠治の病状報告。

174 下條康麿

- 1 昭和（18）年7月21日 恩賞機関拡大強化の草案送付。
(付)「恩賞機関ノ整備ニ付テ」(2種類、2部ずつ)
翻刻あり
- 2 昭和（20）年4月27日 伊沢邸災難の御見舞。小生岐阜上松方へ疎開。
翻刻あり

175 下村宏

- 1 昭和9年12月18日 シテ役者が払底、も一つ行つまりて局面始めて打開か。化膿時期余りに長き。
翻刻あり
- 2 昭和21年6月29日 府県合同の足並も逆戻りしつつあり。知事公選は各県の対立意識を深めると深慮。
翻刻あり
- 3 昭和24年5月28日 御見舞状。
葉書

176 勝田主計

- 1 5月25日 小生には不適任と感じ昨日東京市長辞退。
封筒欠 翻刻あり
- 2 7月16日 小生知人首義太郎紹介。
翻刻あり

177 生野団六

- 昭和22年8月15日 民間貿易再開五億ドルクレジット設定、石炭国営に時日を経過し物価上昇、生活困難。
翻刻あり

- 178 正力松太郎**
- 1 昭和17年8月6日 御親書恐縮。過去十七年間悪言と嫉視の重囿の中に戦うを思ふと独り苦笑。
翻刻あり
- 2 昭和（22カ）10月29日 留守中御親書に接し御礼。
消印は22または23年
- 179 白川義則**
- 8月30日 人事に関し、迂生の信条は公正の二字にて志を実現。
翻刻あり
- 180 白根竹介**
- 大正13年7月14日 今般岐阜県知事を拝命。閣下の推挙の賜と拝承。
翻刻あり
- 181 杉本敏夫**
- 昭和6年8月28日 馬場恒吾氏の「政界人物評論」にて先生を敬仰。
翻刻あり
- 182 鈴木信太郎**
- 1 昭和22年3月7日 教育職員等現状政変を希望する態度を憂慮。無思慮な社会主義的政策に心痛。
翻刻あり
- 2 7月2日 小生耕地に関し前田氏御紹介恐縮の至。
182-3に同封 翻刻あり
- 3 9月17日 地方情勢は政治無関心。政界は民政党が落ち着かなければ不安定状態維持。
182-2を同封 翻刻あり
- 183 鈴木登**
- 1 昭和16年8月12日 信濃宮神社創建奉賛会役員協議会開催通知。
翻刻あり
- 2 昭和16年10月3日 信濃宮御歌作曲関係。
- 3 昭和（21カ）年3月7日 物部知事へ早速手紙。河井弥八様に御目に掛り候。近々再上京。
翻刻あり
- 4 昭和21年9月15日 復興建築助成会社に勤務致す事に相成。
翻刻あり
- 5 昭和（21）年10月2日 御尋ねの追放該当者の有無は府県翼賛会支部長が該当条項。
翻刻あり
- 184 鈴木恒啓**
- 昭和22年2月11日 大臣が変わり私も昨日辞表提出。
翻刻あり
- 185 須田以素**
- 1 大正（3）年8月17日 警視総監就任は恥つかしく候へとも仏菩薩の深き思いと観念。
翻刻あり

- 2 6年8月20日 静海は酒のため人望昔の半分位に付袖にすかる次第。
- 186 須田静海**
- 1 8月16日 伊沢入院の件に対する須田宛竹下弥兵衛書簡同封の件。
封筒消印は13年だが内容は戦後 (付)竹下弥兵衛書簡(須田静海宛、8月8日付) 翻刻あり
- 2 9月18日 老姉死去の件。
一部欠
- 187 須田卓爾**
- 昭和4年8月12日 山梨総督辞任は紙上にて想像。医師として健康上兄の出蘆を堅く御止。
翻刻あり
- 188 住友吉左衛門**
- 大正10年3月10日 万国商事会議参列祝金一万五千円拝呈。
390を同封 翻刻あり
- 189 関屋貞三郎**
- 1 昭和11年12月30日 御下命の謹話筆記差上。
翻刻あり
- 2 1月22日 先日御話申上た印刷物御覧に供す。
「印刷物」なし 翻刻あり
- 3 8月30日 加納久朗君倫敦話の午餐会招待。
翻刻あり
- 190 妹尾雲峰他**
- 11年7月26日 秀畝及び小左右衛門と連記。帰京の節一席相催度。
葉書
- 191 相馬敏夫**
- 昭和(21カ)年1月16日 終戦後県民も役人も虚脱状態。日本は亡国への途を辿りつつと思はる。
翻刻あり
- 192 添田寿一**
- 大正15年7月20日 東京市長就任感謝。竹蔵氏推挙願上。
翻刻あり
- 193 曾我祐邦**
- 24日 旧友諸君もボツボツ逝去。誠に淋しく思う。
葉書
- 194 曾我部俊雄**
- 1 昭和14年4月20日 近藤壤太郎氏より閣下の御近状を承り安心。
翻刻あり
- 2 7月24日 閣下の御健康を祈る。
葉書
- 3 11月25日 金剛寺を語る会招待。 翻刻あり

- 195 **高木惣一**
12月2日 經典研究会席上の小生講演に関する新聞記事につき御来簡辱く。
封筒欠
- 196 **高瀬青山**
昭和(5~6カ)年8月14日 五島慶太氏主唱の高速鉄道の件御力を賜り度。梶井氏の学校経営の件御心に止置き被下度。
翻刻あり
- 197 **高田耘平**
昭和14年3月31日 台湾米移出管理反対の目的達し得ざりしは遺憾。小生は此後の議会でも反対継続。
翻刻あり
- 198 **高橋作衛**
大正3年12月 児玉果亭翁遺墨謹呈。
- 199 **高橋守雄**
昭和2年4月25日 内閣突然更迭致候も小生貴翰の通り泰然冷然職務に励精致す決心。
翻刻あり
- 200 **高広次平**
昭和7年8月12日 金岡又左右衛門民政党候補として決定。当選の上は同成会入会。石川県は本多男爵に決定。
翻刻あり
- 201 **高山長幸**
- 1 大正13年4月10日 貴党と我党相提携。小生選挙区第五区。西村一派は本党へ走ると推量、貴党将来の禍。
翻刻あり
- 2 大正(13)年4月14日 護憲三派の協調も地方にては中々困難。当区混乱の状態有之。
翻刻あり
- 3 昭和11年7月21日 台湾の問題には大御所として其勢力に驚く。御疎遠相成御詫。
翻刻あり
- 202 **竹内松次郎**
昭和23年5月29日 別紙小文供高覧、請指教。
「別紙」なし 封筒欠
- 203 **建部遜吾**
昭和16年3月2日 近衛公及び紀元二千六百年紀年式典参列に対する漢詩。
葉書(印刷)
- 204 **田阪千助**
昭和11年5月6日 御話之件は身柄一切を当方に引き取る趣旨。

205 立花小一郎

- 1 大正13年3月5日 戸籍謄本手許に無之。原本一週間後には到着。
葉書
- 2 大正(13カ)年11月12日 貴族院各団之会合頻繁頗る閉口。日出男結婚之儀好縁有之。
205-3に同封 翻刻あり
- 3 大正13年12月17日 浜口蔵相拝顔を得ず。山口商業会議所会頭より陳情致置筈。蔵相へ口添願う。
205-2を同封 翻刻あり
- 4 大正(14カ)年6月23日 先般は永く滞台公私共御厄介に相成深謝。
205-5に同封 翻刻あり
- 5 大正14年7月6日 例之芝山巖詩別紙之通決定。修二氏献灯御承諾被下奉万謝。
205-4を同封 翻刻あり

206 館林三喜男

- 1 昭和20年5月6日 国民義勇隊結成と共に翼壮解散し本部長退職。当分野に留まらせて頂きたい。
翻刻あり
- 2 昭和22年2月25日 河井父の参議院議員立候補は出るの意志強し。高村君苦戦有力者への御推挽願う。
392を同封 翻刻あり

207 田中耕太郎

- 1 昭和17年9月18日 サラザールに関する柳沢氏著書及び拙著ラテン・アメリカ紀行等送付の件。
翻刻あり
- 2 昭和18年2月16日 伊東御別荘招待御礼。
翻刻あり
- 3 昭和(22)年3月14日 此度の立候補につき御激励深く感激。自進社国等の連絡に一層努力。
翻刻あり
- 4 昭和(22)年4月23日 新聞報道によれば当選確実。民主党入党は御教示を仰ぎ慎重考慮仕り度。
翻刻あり
- 5 昭和23年1月1日 年賀状。
- 6 昭和(22)年2月4日 此度吉田内閣改造の一環として退官。在官中の御支援御指導に対し御礼。
翻刻あり
- 7 4月2日 長野県地方青年層に唯物思想相当浸透。一層啓蒙の必要有之。
翻刻あり
- 8 8月9日 岡山・広島・香川各県夏期大学講演、目下高松に滞在。
葉書
- 9 10月24日 世事憂慮に堪えざるもの多く有之。ことに一般教員の動向は痛嘆至極。
翻刻あり

208 田中武雄

- 1 昭和9年9月21日 御話の件の意見書別紙の通り。右様に取計被下。後の一件は特に御含み願う。
翻刻あり
- 2 昭和14年7月29日 御指示に基づき大臣と打合の結果御面会日を取極むる
翻刻あり
- 3 昭和(18)年1月24日 内外地一元化の如き重大事の抜打的措置に痛憤。
翻刻あり
- 4 昭和(18)年8月30日 鮮内の食糧事情逼迫。旱水害の被害激甚。徴兵令実施を控え考えさせられる事象もあり。
翻刻あり
- 5 昭和20年2月28日 総理として臣義を完了する途につき具申したるが最も愚劣なる結果に陥る。
393-1、393-2を同封 翻刻あり

209 田中俊清

- 1 昭和11年7月18日 今回は御高見之通り決心。其旨塚本様へも拝答。
翻刻あり
- 2 昭和11年7月21日 宇部市長紀藤閑之介と連記。御健康祈る。
葉書
- 3 8月24日 老年の今回、辞任やむなし。後任者は小生推薦の人物。小生長男数年経験の上石清水八幡宮へ復帰を交渉。
翻刻あり

210 田中善立

- 昭和4年10月3日 名古屋市会選挙終了後御往訪。
翻刻あり

211 田村新吉

- 昭和7年8月12日 形勢尚混沌。他の候補者に比し稍不利の状態。
翻刻あり

212 俵孫一

- 大正15年7月21日 市長就職極めて犠牲的御苦勞千万と御同情。
翻刻あり

213 塚本清治

- 1 昭和6年6月3日 御令嬢様御縁談に関し永田安吉氏取調書至急送付約束。
翻刻あり
- 2 昭和6年6月21日 満鉄総裁後任案外の任命。朝鮮総督後任是亦期待を裏切られ痛恨。
翻刻あり
- 3 昭和6年8月10日 閻錫山飛行機にて脱出。外交上不利益の事件を発生せしめ申訳無之。
翻刻あり
- 4 昭和6年10月4日 中谷警務局長身上に関し次田内務次官と相談せしも事変勃発。次の機会又周旋。
翻刻あり

- 5 昭和10年12月29日 小宴相催度存候に付御光来相仰度。
翻刻あり
- 214 次田大三郎**
- 1 昭和11年8月13日 台湾総督之件広田首相に申上候。有吉氏を煩わすは如何との御挨拶。
翻刻あり
- 2 昭和11年9月5日 中川健蔵同成会加入内諾。今井田清徳事前工作致置。
翻刻あり
- 3 昭和22年5月28日 住居に関する佐藤書簡送付。
(付)佐藤書簡(次田大三郎宛 5月17日付)
- 215 妻木栗造**
- 1 昭和(3)年10月31日 製脳会社退職に際し慰労金拝受。謝恩記念として参千金拝呈仕度。
215-2を同封 翻刻あり
- 2 昭和(3)年(12)月25日 小生の微志御受納被下度。方法に就いては緩々御考慮被遊度。
215-1に同封 翻刻あり
- 3 昭和(22カ)年6月16日 西九州石炭礦業会に出頭。面会の時日待つも何もなし。
215-5を同封 翻刻あり
- 4 1月16日 火災保険会社開業以来の成績御報告。
翻刻あり
- 5 10月11日 別紙略歴差出。目下無収入。
「別紙」なし 215-3に同封 翻刻あり
- 6 12日 永田隼人君より台湾電力の社長に就職方勧誘。言下に断る。
封筒欠 翻刻あり
- 216 田艇吉**
- 昭和12年6月18日 揮毫承諾に対する礼状。
- 217 東京憲兵隊本部**
- 昭和19年7月11日 「不穩文書回収方ノ件照会」(昭和19年7月11日東憲高第953号)
裏書に昭和19年7月20日付東京憲兵隊宛伊沢多喜男の回答
(草稿)あり 394-1を同封 翻刻あり
- 218 徳富猪一郎**
- 昭和7年1月21日 嫡子結婚祝状。
- 219 得能佳吉**
- 1 昭和21年8月14日 財団法人同和奉公会解散に際する清算事務滞りなく完了。
翻刻あり
- 2 昭和22年8月14日 近況報告。
- 220 富岡益太郎**
- 大正11年1月1日 年賀状。 葉書

221 富田健治

昭和14年11月17日

荒廃林地復旧事業等国の第二期治水事業費予算の既定計画繰延
に対し復活方懇願。

翻刻あり

222 内藤頼輔

1 昭和（2）年4月5日

願くば今一度親任官に相成様願も長き御官は御止め申上度。

翻刻あり

2 昭和20年5月1日

過般の空襲に際し罹災御見舞。

3 昭和20年7月8日

家族の高遠転住に付御賛成を賜り難有。

(付)メモ[裁判所関係勤務場所一覧] 翻刻あり

223 永井松三

昭和24年1月6日

近況報告。

224 永井柳太郎

1 昭和（8カ）年1月22日

過日來の事件に付小生の意中は堤次官に伝言を托す。

(付)伊沢多喜男書簡封筒（永井柳太郎宛 昭和8年1月16
日消印） 翻刻あり

2 昭和（9）5月26日

御見舞状賜り感激。其後経過宜しく昨今殆ど平常に復す。

翻刻あり

3 昭和11年8月15日

総裁に随行し前総裁訪問。

葉書 翻刻あり

4 昭和（13カ）年8月24日

電力会社設立委員は御期待の方面に及ぼすこと思い止まり何卒
御諒承被下度。

翻刻あり

225 中井川浩

昭和17年4月26日

本県は風見君の問題で波瀾。第三区は以外の激戦。

翻刻あり

226 長岡隆一郎

1 昭和（10）年5月23日

先生中心のグループに於て満洲に長岡閥を作りつつありとの批
難有之、実に意外。

翻刻あり

2 昭和10年6月23日

品川主計氏小生任命を否決せしめんと運動。満鉄理事木下君割
込の余地なし。

翻刻あり

227 中川健蔵

1 昭和7年6月16日

新京より御健康を祝す。

葉書

2 昭和7年12月9日

殖田殖産局長進退の件拓相に急速進行方御願。祝盃問題別紙調
査書の通り。

(付)「調査書」 翻刻あり

- 3 昭和（7）年12月18日 殖田殖産局長転任の件柴田翰長に総理の意向御尋ね被下様依頼。
翻刻あり
- 4 昭和（8）年11月21日 当地にては東京よりも尚一層濃厚に辞任とか軍人総督とのデマを飛ばす。
翻刻あり
- 5 昭和9年11月7日 朝霞へ御共の件欠席。
翻刻あり
- 6 昭和9年12月24日 白話字調査委員会開催は当分手を触れざることに致度。
翻刻あり
- 7 昭和10年5月10日 管下震災被害甚大なるも復興之善後計画大体順調。
翻刻あり
- 8 昭和14年2月18日 田沼氏著『台湾移出米管理案の解剖』精読。有力の反対論たる資貨を完備。
翻刻あり
- 9 2月21日 人事問題に付詳細電報御報告に付宜敷御配意御願。
翻刻あり
- 10 11月7日 総督府試案を踏襲したる特別委員会案が答申として採択。卑見の要点を摘記。
翻刻あり
- 11 11月21日 昨夜は行違と相成遺憾千万。
葉書 翻刻あり
- 228 中川望**
昭和5年10月28日 勅選議員を補充之詮議相伝う。御推挽に与る様御高配相煩度。
翻刻あり
- 229 仲田包寛**
12月9日 蜜柑御送り申上く。
- 230 中谷政一**
- 1 大正10年7月9日 健康を祈申。
- 2 昭和（6）年2月21日 満鉄長官更迭、銀安の影響深刻にて匪賊の出没が近年稀有の害を与える。
封筒欠 翻刻あり
- 3 昭和（6）年6月15日 満鉄首脳者の更迭ありて御出馬を確信の処其事なく意外千万。
封筒欠 翻刻あり
- 4 昭和（6）年11月20日 満洲は今事変の中心点。長官警備力増員言明するも関東庁の財政は行詰まり。
翻刻あり
- 5 昭和（6）年12月14日 小生辞表を直に提出し年内上京の準備。
翻刻あり
- 6 昭和（7）年1月4日 本国の政変以外千万。長官には辞表差出す。
翻刻あり

- 7 昭和7年1月18日 山岡長官とは所詮一所にゆき得ざる性格。辞表の聴許を願う。
翻刻あり
- 8 昭和（7）年1月20日 予て願出の辞表昨日御聴許。
封筒欠 翻刻あり
- 9 12月30日 関東庁内各警務局関係の大異動断行。
翻刻あり
- 231 中野邦一**
- 1 昭和20年5月5日 巢鴨の御本邸焼失誠に遺憾千万。
- 2 昭和22年7月30日 近況報告
- 3 8月16日 御芳翰中の白木某は小生一面識も無之。
- 232 中野正剛**
- 昭和4年8月13日 野溝伝一郎君、尊台麾下にて資質を発揮せしめんことを願う。
翻刻あり
- 233 中村是公**
- 7月29日 腸上部から出血。検査したるも有耶無耶に終る。
翻刻あり
- 234 中村舜二**
- 1 昭和22年9月7日 八十歳以上百人を厳選し健康長寿に関する感想或は体験を伺い度。
(付)回答用紙2枚
- 2 昭和22年10月15日 七十八九翁まで切り下げた結果尊台の御一顧を乞う次第。
(付)回答用紙2枚
- 235 中村房次郎**
- 1 昭和2年8月3日 今回の多額選挙実言語同断。選挙人の多数は政治的理解なし。
翻刻あり
- 2 昭和6年8月27日 浜口氏の御長逝実に痛恨。国家の為め不容易大損害。
(付)封筒(表書:「浜口関係」)1枚 翻刻あり
- 3 昭和7年9月6日 斎藤内閣、政友会との関係清算すべき。昭和八年二月に総選挙を切望。
翻刻あり
- 4 昭和7年9月10日 御来示の件毫も異議無之。御帰京次第三宅氏参上。
翻刻あり
- 5 昭和12年10月5日 中村邸(根岸芝生台)敷地図。
- 6 昭和14年4月4日 来る十四日、小生遭難記念日に付き小会催し度。
398を同封 翻刻あり
- 7 昭和14年4月30日 伊東別荘お気に入りの様子喜ばしい。
翻刻あり

- 8 昭和14年8月8日 貴族院議員の件進捗。平沼氏再選を内定。
翻刻あり
- 9 昭和14年8月30日 永田氏を助役に起用出来れば横浜市の為めに宜敷。
翻刻あり
- 10 昭和14年8月31日 助役の件青木市長と菊地助役の都合宜敷方に致し度。
翻刻あり
- 11 昭和17年10月5日 爾後知事市長御歓談し親敷協調融和。
翻刻あり
- 236 中村不折**
- 1 明治42年3月28日 新聞紙上御行動を読み愉快。御申越は委細承知。遷延御許容を。
- 2 年月日不詳 <中身欠>
封筒のみ
- 237 中村正雄**
- 1 昭和19年7月28日 先般御恩寵に家族一同感涙。父最後の事業たる鉱業報国に挺身。
封筒二重 399-1を同封 翻刻あり
- 2 昭和20年9月21日 松尾鉱山にて御大詔拝聴。肥料増産につき松尾鉱山の使命再び重要。
237-7に同封 翻刻あり
- 3 昭和20年12月1日 神戸在住兄に立ち退き命令。御来伊なければ伊東へ。
237-7に同封 翻刻あり
- 4 昭和20年12月6日 神戸兄居住御許容も伊東別荘は国家社会に有用に御使用願う。
237-7に同封 翻刻あり
- 5 昭和22年7月1日 東北巡幸の由承る。松尾鉱山臨御一同感激。何卒宜しく。
電報 237-7に同封 翻刻あり
- 6 昭和22年7月18日 宮内府犬丸課長に陳情、好摩駅にて御召列車御奉迎方研究とのこと。
237-7に同封 翻刻あり
- 7 昭和22年8月1日 天子様の件本日決定。小岩井農場にてお話。好摩駅徐行奉迎。
237-2、237-3、237-4、237-5、237-6、399-2、399-3、
428を同封 翻刻あり
- 238 中村雄次郎**
- 1 大正6年6月9日 過般御願の吉田義季氏大倉組へ依頼の趣。門野重九郎氏に面会。
翻刻あり
- 2 2月13日 門野重九郎氏に面会。樺太に木炭製造所起業の件。
封筒欠 翻刻あり
- 239 永安百治**
- 昭和17年12月15日 本年通常県会は協力体制に終始。高等工業学校設置は欣快。治水治山事業期成同盟会副会長の件。
- 240 半井清**
- 1 昭和22年4月1日 市長選は山崎次隆自由進歩推薦。社会党は石河京一。山崎有利。
翻刻あり

- 2 昭和22年4月8日 横浜市長選は社会党に敗れ遺憾。石河京一は人物好ましからぬ
噂あり。今後の市政監視必要。
翻刻あり
- 3 昭和22年8月20日 松尾鉦山運営に協力方のご指示、先方に受容の心なき限り如何
ともしがたし。
翻刻あり
- 4 昭和23年4月10日 お邸の件、中村家債務弁済のため譲渡。
240-5を同封 翻刻あり
- 5 年月日不詳 浜口・下岡・湯河の三氏で千円に変更。
240-4に同封 翻刻あり
- 241 鍋島桂次郎**
- 1 昭和2年10月3日 当地方暴風雨は倒壊浸水家屋あるも死亡者なし。稲作柄も八分。
翻刻あり
- 2 昭和（3カ）年1月26日 選挙に関し方々に巡遊の由。何とぞ長崎県へも御来駕を願う。
封筒欠 翻刻あり
- 242 南原繁**
- 昭和（20カ）年2月18日 御芳書に接し恐縮。御高話拝聴したし。国家危局の砌ご自愛を。
葉書 年は3銭葉書による推定。 翻刻あり
- 243 西久保弘道**
- 1 大正12年1月1日 年賀状
葉書
- 2 大正15年7月19日 東京市長ご就任大慶至極。御病氣十二分に御静養を。
翻刻あり
- 3 昭和（4）年7月21日 田中内閣倒閣同慶。八塚利三郎署長は懇意。丸山にも依頼。
翻刻あり
- 4 昭和4年8月3日 八塚は将来官吏を止め実業方面に活動する由やむを得ず同意。
翻刻あり
- 244 西野入愛一・和田義郎**
- 昭和23年7月19日 近々、小坂君と参上。
- 245 西村兵太郎**
- 昭和（7）年8月23日 貴族院議員候補者は政民妥協し仲田氏推薦内定。単独推薦至難。
封筒欠 翻刻あり
- 246 新渡戸稻造**
- 昭和7年3月28日 小生四国舌禍事件に貴兄より松山某新聞社長に御芳志。感謝。
400を同封 翻刻あり
- 247 野口弥三**
- 昭和22年8月18日 インフレ益々悪化し前途痛心。小作人収入なく自作出来ず困る。

248 野溝勝

- 1 昭和17年4月15日 郡下の共同戦線運動奏功し異状の成果を信ず。
翻刻あり
- 2 昭和（17）年5月23日 先日お話の履歴書同封。南方での活躍希望。職域奉公を。
（付）野溝勝履歴書 248-3を同封 翻刻あり
- 3 昭和17年5月31日 帰京後妻の病気により帰郷。先生の原稿整理も出来ずお詫び。
248-2に同封 翻刻あり

249 挾間茂

- 昭和13年2月8日 今般転任に付御教示御礼。地方第一線に立つ宿志を遂げ欣快。
翻刻あり

250 橋本清之助

- 1 昭和7年7月1日 農村対策多忙のため失礼。
- 2 昭和11年9月11日 紀君の件野村編輯次長に懇請。転任中止は突然。手腕は認識。
翻刻あり

251 長谷川久一

- 大正13年7月7日 大阪市電罷業立籠りでも忙。日本労働総同盟絶滅は是非必要。
翻刻あり

252 八田善之進

- 昭和（22）年1月24日 枢密顧問官の恩命に浴し、ご指導の程希いあげる。
翻刻あり

253 八田嘉明

- 昭和14年1月14日 この度商工・拓務兼務に付御懇詞御礼。責任の重さを痛慮。
翻刻あり

254 浜口雄幸

- 1 大正（14カ）年6月11日 幣原君へ内話の件兩人意見を幣原君一書拝呈。治台益々邁進を。
165-1参照 翻刻あり
- 2 昭和5年1月28日 岩倉男爵御手紙を返却。御受取被下度。
翻刻あり

255 浜口雄彦

- 1 昭和6年8月25日 本月初めまでは父の経過良好。突然発熱。体力・気力衰弱。
翻刻あり
- 2 昭和17年9月28日 先考伝記編纂に付御高配感銘。小生明二九日より北支那視察。
翻刻あり
- 3 昭和18年1月28日 広島菜漬物少々お届け。御賞味ください。

256 原嘉道

- 1 昭和（17）年1月9日 国内過激派の言議の一端昨夕の報知新聞に。国内攪乱を煽動。
（付）新聞切抜「国内刷新の秋」 翻刻あり
- 2 昭和17年6月4日 尊翰拝誦。錦地静養中の趣了承。枢密院に重要案件なし。

- 3 7月24日 林田昨夜半来着。今夕御高話拝聴会食願い度。
256-4を同封 翻刻あり
- 4 8月20日 今朝来客の為御約束に反き失礼。二十二日御寵招感謝。
256-3に同封
- 5 年月日不詳 小生本日午後帰京。過日の「信濃の口碑と伝説」をお手元に。
名刺に書込
- 257 原良三郎**
昭和22年12月5日 御懇書御厚情感佩。亡父在世中よりの横浜への御高配忝し。
翻刻あり
- 258 原田熊雄**
- 1 昭和13年8月22日 御殿場老人過般御心配の点全然同憂。右傾の始末大に心配。
翻刻あり
- 2 昭和18年7月5日 御懇書お礼。山へ御出の由。小生は暑い大磯に留まる予定。
- 3 10月3日 浅川参陵車中にて「風に恨み」を話題に。道中老公の慰めに。
翻刻あり
- 259 平沢要**
昭和21年10月13日 終戦後の月日の早いのに驚く。法律改正などの機に一気に退任。
- 260 平田吉胤**
昭和7年8月12日 御照会多額議員選挙苦心。小生辞退。沢田氏再出馬期し難し。
翻刻あり
- 261 平沼亮三**
昭和(21)年3月12日 追放令により勅選に多数補欠、半井市長を推薦願う。小生は追放、辞表提出。
翻刻あり
- 262 平山遠**
昭和 年5月22日 小生終戦後も大学に徴用。当地医専も大学に昇格同慶。
翻刻あり
- 263 平山泰**
- 1 昭和(11)年9月17日 宮沢君入市御手紙恐縮。台湾人事。十日、総督招待状送付。
(付) [総督招待出欠名簿] 翻刻あり
- 2 昭和18年6月25日 今回の京成日報社長人事反対理由。塩糖問題善後策。交通規制担当者として推挙願。
翻刻あり
- 264 平山好**
昭和(22)年5月23日 増田・下條当選は御支援のたまもの。故人の御墓参に感激。
封筒欠 翻刻あり

- 265 **広瀬吉蔵**
昭和24年1月4日 書（昭和二十三冬、伊沢多喜男八十賀）・詩（昭和二十四賀正）
- 266 **広瀬徳蔵**
昭和（4）年7月3日 光輝ある内閣出現。尊台入閣なしは物足らぬ。
翻刻あり
- 267 **広瀬久忠**
1 大正6年5月29日 伊藤君の身元等は別紙調書にて御承知被下度。
「別紙」なし 翻刻あり
2 昭和20年9月2日 遠大なるべき復興問題、小生重任に不堪。議会、総監会議、進駐軍接待など目まぐるしき。
翻刻あり
- 268 **福井菊三郎**
1 昭和（14）年8月15日 自叙益田孝伝著者長井実氏より一部貴下へ拝贈の旨申し来る。
2 10日 態々御来示恐縮に堪えず。
- 269 **福沢桃介**
大正14年4月25日 小生永年最良の新俳優河合武雄貴地にて興行。御引見被下度。
- 270 **福島文右衛門**
昭和7年8月14日 多額議員選挙は飛島文吉・山田仙之助競争中。飛島多少優勢。
翻刻あり
- 271 **福原俊丸**
昭和23年9月13日 過日尊容に接し御元気驚き入る。先日赤穂町佐藤孝一君を訪問。
- 272 **藤岡長敏**
1 昭和（17カ）年1月23日 小生静岡県転出に御祝詞有り難し。伊東御滞在中拝眉を念願。
2 6月19日 信遠鉄道・中部日本治山治水問題・宗良親王奉賛会等努力中。
翻刻あり
- 273 **藤沼庄平**
11月2日 同成会より経験者として推薦予定なし。各会派割当報告。
翻刻あり
- 274 **藤原銀次郎**
1 昭和18年6月29日 <中身欠>
394-2を同封
2 昭和18年8月14日 今後相当の余震、収穫は確か。国策会社経営方針一変せば幸福。
翻刻あり

- 3 昭和（18）年11月30日 この椅子に坐りて視れば国家状勢心配。徐々首相に忠言致。
翻刻あり
- 4 昭和20年4月19日 過日ご来訪深謝。尊邸ご遭難の由拝承。大いに驚く。
葉書
- 5 昭和20年10月28日 正力君のこと高配感謝、新聞問題の方は暫時成り行き観望。食糧困難・人心悪化。
翻刻あり
- 6 昭和（23）年9月4日 亡妻忌明の日、慶応が工学部を慶応義塾藤原記念工学部と改称の予定。
翻刻あり
- 7 3月1日 大番頭更迭、山下逝去。企業体制大問題。
翻刻あり
- 275 降旗徳太郎**
昭和23年5月19日 先般御来駕お礼。国政の前途多難。
葉書
- 276 古川政次郎**
大正13年7月25日 鉄道線路変換の儀は鉄道省に同意、変換を強要せざる方可然。
(付)上山勘太郎書簡（伊沢多喜男宛 大正13年7月18日付）
翻刻あり
- 277 報知一愛読者**
年月日不詳 報知紙上加藤高明伯に関する御話拝読。私所持の伯の書を同封。
(付)[加藤高明(カ)書]
- 278 朴重陽**
昭和11年8月7日 大野政務総監御紹介下されたく。
翻刻あり
- 279 細川護立**
- 1 大正13年9月20日 小生同窓石橋茂氏紹介。台湾にて弁護士、憲政会代議士6度当選。
翻刻あり
- 2 昭和22年4月15日 榎有恒氏、東京にて然るべき職御心当りは。
翻刻あり
- 3 6月17日 貴書拝読感激。数年来の不健康、重責にあたるは不可能。
翻刻あり
- 280 堀切善次郎**
昭和6年8月22日 糖業代表者と木下長官等との懇談会開催。省廃合決定時機近づき候模様。
木下、昭和6年4月から7年1月まで総務長官 翻刻あり
- 281 前田多門**
- 1 昭和（21）年7月15日 拙宅進駐軍に接收。急遽移転。本週国際裁判所証人出廷。
翻刻あり
- 2 昭和（21）年10月28日 先般電話にて軽井沢会理事推薦者御辞退の趣に驚く。御翻意を。
281-3参照 翻刻あり

- 3 昭和21年11月16日 軽井沢会理事推薦者御辞退の旨拝承。遺憾。事実上御助勢を。
翻刻あり
- 4 昭和（21）年12月29日 軽井沢会後任理事の件、左記諸氏にて蓋開け。
281-3参照 翻刻あり
- 282 前田利定**
4月30日 旧藩横尾惣三郎に対する平生甚大の御高庇深謝。
- 283 前田米蔵**
昭和11年8月5日 貴下今度鉄道会議議員任期満了。御留任願度。差支無之哉。
翻刻あり
- 284 槇有恒**
- 1 昭和21年9月18日 御尊翰拝誦。御芳志感佩。
- 2 昭和21年9月23日 明二四日よりカーター博士（GHQ水産部門勤務）登山案内。
翻刻あり
- 3 8月9日 当山村に仮寓半年。近頃茅ヶ崎方面借家の見通し。今秋移転。
翻刻あり
- 285 牧野伸顕**
昭和22年9月20日 封入の書類賢兄当時の御心労も被伺、伊沢家にて保存可然。
「書類」なし 404を同封 翻刻あり
- 286 増田甲子七**
- 1 昭和15年5月23日 一昨日御見舞感激。小生国家の合法的革新を志すも病に。
翻刻あり
- 2 昭和（19）年9月6日 近藤壤太郎氏勇退、内務官界寂寥。清水重夫氏は内務省の柱石
となるべき。
翻刻あり
- 3 昭和19年12月31日 松尾英敏君と清水重夫兄のため御高配を願う。
翻刻あり
- 4 昭和（20）年8月5日 平山市長に書面で御願。松尾は市政明朗化に治績を挙げ事確信。
平山、昭和20年7月から21年3月まで松本市長 翻刻あり
- 5 昭和（20）年10月8日 臥床八年の後健康全快、九月末帰京。今回政変有之、難局下御
苦闘の段感謝。
20年10月9日幣原内閣成立 翻刻あり
- 6 昭和（20）年11月15日 今回福島県知事拝命。平山市長は松尾君を福島にて官吏にと。
増田、昭和20年10月から21年4月まで福島県知事 翻刻あり
- 7 昭和（21）年6月4日 転任に際し祝詞御礼。去る廿九日北海道の食糧事情につき御下
問、委曲奏上。
増田、昭和21年4月から22年1月まで北海道庁長官 翻刻あり
- 8 昭和（21）年7月10日 地方長官公選は自治促進。小生も立候補希望。進駐軍大佐の支
持あり。
増田、昭和21年4月から22年1月まで北海道庁長官 翻刻
あり

- 9 昭和（21）年8月21日 米国及内地の援助により食料難打開。農産石炭など万事好転。
増田、昭和21年4月から22年1月まで北海道庁長官 翻刻あり
- 10 昭和21年12月3日 石炭増産。十一月出炭量は五十四万五千トン。政府・進駐軍大に喜ぶ。
翻刻あり
- 11 昭和22年6月6日 今般運輸大臣退官。
翻刻あり
- 287 町田忠治**
- 1 昭和（6）年8月14日 浜口氏月初より時々高熱。農林審議会委員人選に付貴意を得度。
翻刻あり
- 2 昭和（6）年8月22日 農林審議会委員は月末迄に選定致し度。浜口氏はよほど衰弱。
翻刻あり
- 3 昭和（6）年9月1日 公正会意向御徴の段拝謝。他会派の振合に老台を煩わし度。
406を同封 昭和6年8月26日、浜口没 翻刻あり
- 4 昭和13年3月24日 池田氏身上につき御厚意拝謝。本人も先輩の勸告に従うことに。
翻刻あり
- 5 1月13日 土佐よりの貴翰拝誦。議会も目睫の間御高見承度。
- 6 11月13日 花川氏の事一兩日前内々交渉。出来れば同氏の為喜ばしい。
翻刻あり
- 288 町村金五**
10月19日 男爵記念事業に付ご下命の件。
- 289 松井慶四郎**
（ ）4年7月4日 小生は明日より軽井沢に。御出でになれば又々お供申すべし。
- 290 松井茂**
- 1 大正15年7月25日 丸山君より事情を審かに致候。各方面には誤解の防禦に努居候。
翻刻あり
- 2 昭和11年8月9日 川崎卓吉君に対する御好誼に御礼。頃日同君郷里で惜別の辞。
- 3 昭和16年2月23日 今日は御内祝いの品頂戴し御礼。
葉書
- 291 松沢忠太**
昭和6年1月8日 楽石社大阪支部長大矢寧明氏辞職。目下常設矯正所なし。
（付）『楽石社大阪支部矯正規則』、中村慶次郎・精一宛
葉書。通信文は『楽石社大阪支部矯正規則』表紙に書込。
- 292 松平恒雄**
昭和（22）年6月16日 小生参議院議員及議長当選につき御祝詞御礼。
松平、昭和22年参議院議員当選・初代議長 翻刻あり

- 293 松根豊**
昭和17年9月2日 狂文・狂歌
- 294 松本学**
1 昭和（7）年8月14日 御来示の件、別紙御高覧。
（付）「貴族院多額納税者議員通常選挙立候補確実者調
（八月十一日現在）」「貴族院多額納税者議員通常選挙立候補調（昭和七年八月十一日現在）」 翻刻あり
2 昭和9年2月11日 珍しきからすみを有り難く賞味。
- 295 松本丞治**
昭和14年3月3日 新聞原稿送付。
（付）「王安石の革新政治 北宋衰亡の固をなす 読書偶感」
（中外商業新聞 昭和13年2月3日掲載原稿）
翻刻あり
- 296 松本安正**
昭和（4）年10月17日 大浦兼一氏原田老人との面談希望。不取敢久田氏へ紹介。官吏減俸問題、政府に批難の声。
昭和4年10月、官吏一割減俸案発表 翻刻あり
- 297 丸茂藤平**
昭和（3）年（8）月12日 来春立候補難しい、浪人のまま再起は絶望。鈴木内相に依頼して就職。
丸茂、3年1月から12月岩手県知事 翻刻あり
- 298 丸山鶴吉**
1 大正13年6月11日 小生在鮮五年局面展開の要痛切。暫く内地放浪、次に外遊研鑽に努め度。
翻刻あり
2 大正13年6月18日 小生鮮人とも因縁。局面展開切要。大嶋君官界より除外すべし。
翻刻あり
3 昭和（2）年（7）月 ジュネーブ軍縮会議報告。会議いつ終了するとも見込立たず。
丸山、昭和2年4月からジュネーブ海軍軍備制限会議随員
翻刻あり
4 昭和4年7月3日 安達氏と会見。警視総監就任懇談を受く。快諾の返答を致す。
丸山、昭和4年7月から警視総監 翻刻あり
5 昭和12年3月16日 昨夜半運動終了。政治教育の効果は相当。今回の選挙は以外の好結果か。
翻刻あり
6 昭和17年9月18日 身体は漸次疲労回復。当病院は街の中。終日一室に閉籠。
7 31日 貴族院北支・上海慰問団派遣に同成会員の希望者なくば参加致し度。
封筒欠 翻刻あり

- 299 三浦弥五郎**
大正15年7月15日 東京市長御就職に祝意。大綱を引き締めて細目は市会有力者及助役に一任せよ。
封筒欠 翻刻あり
- 300 三浦礫三郎**
昭和8年9月8日 吉林省事情。小生は性急なる中央集権思想・日本化思想に対するブレーキとして奮闘。
翻刻あり
- 301 三沢寛一**
- 1 昭和（11）年9月3日 平生文相に御推薦を御礼。財団理事者会議、広田内閣の寿命を懸念。
翻刻あり
- 2 昭和21年7月13日 郷里農地処理の必要に迫られ十年にわたる札幌生活を打ち切り。
- 3 昭和（21）年8月18日 物部知事・教育民生部長に面会。尊稿「岩波君を憶ふ」を拝誦。
封筒欠 翻刻あり
- 4 昭和21年12月16日 信濃宮神社封鎖預金解除は半年を要す。知事候補者物部氏有力。
翻刻あり
- 5 9月29日 奉賛会役員組織着々進行。河合弥八殿に御紹介の御名刺頂き度。
封筒欠
- 302 三沢糾**
昭和（8）年11月21日 高砂寮復興の際には堅実高尚な青年を内台人より選び中心に。
(付)三沢糾履歴書 翻刻あり
- 303 水野昌雄**
昭和13年12月1日 御書拝見、拙文改作。台湾総督一条ありて文章上の照応あり。
408を同封 翻刻あり
- 304 三土忠造**
- 1 昭和（21）年2月15日 玉翰拝読。御旅行困難の由。御保養専一。その内誰か差し遣度。
内務省封筒使用。三土、昭和21年1月～5月内務大臣
翻刻あり
- 2 2月18日 拙著『出田徒然草』『湘南方丈記』御贈呈申上候。
- 3 2月28日 先般来重要問題堆積。本日老生秘書官高倉寛差遣候。
- 305 三矢宮松**
昭和11年9月7日 河井弥八氏より拝承、赤石山につき御配慮感謝。
翻刻あり
- 306 南弘**
昭和17年8月27日 昨夜の漢詩今朝推敲。一応御眼にかけ候。

- 307 三橋四郎次**
昭和20年5月10日 八十八夜神饌茶御贈申上候。
- 308 三淵忠彦**
1 昭和23年2月23日 本日御高教を賜り有難拝謝。
2 昭和23年2月26日 検事総長福井盛太郎拝眉御教示を願度と申居候。
- 309 三宅磐**
昭和7年10月17日 平沼君同成会加入手続き相済み小生も一安心。
翻刻あり
- 310 三宅秀**
1 昭和9年12月25日 緊要の節登院の心得。
2 昭和10年3月11日 海豹にて帽子肩掛け作製。登院の上御一覽願可答。
- 311 武藤嘉一**
5月24日 古屋慶隆代議士よりも県議に運動勧告され候。推薦制なら決意。
封筒欠 翻刻あり
- 312 武藤嘉門**
1 昭和20年6月10日 兼て御意見の通一部専擅時局を困難に。官吏威信失墜の極。
翻刻あり
2 昭和20年6月18日 当局国民に対する信用喪失。官吏素行暴露の結果。
翻刻あり
3 昭和(20)年(9)月4日 合成酒製造上銅板必要。住友本店河井氏に御紹介を。
岐阜空襲(昭和20年7月9日・12日)から2ヵ月 翻刻あり
4 昭和(20)年9月27日 住友河井様御紹介状早速御送付下され感謝。当分拝趨は見合せ。
312-3参照
5 昭和21年11月8日 小生当夏以来不快気味。昨今全快。上京致度。
6 昭和21年12月18日 桃井知事在官の儘選挙に臨む官権濫用は当然の次第。
翻刻あり
7 昭和22年1月11日 拙生追放該当の件尊台より資格審査の内詮議ご照会を願度。
翻刻あり
8 昭和22年2月3日 岸氏より返電追放令無罪を確信。桃井知事出馬は大野伴睦暴挙。
312-9を同封 翻刻あり
9 昭和(22)年2月15日 植原新内相は知事立候補賛成。桃井氏狂奔一層目立つ。
312-8に同封 植原悦二郎、昭和22年1月から内相 翻刻あり

- 10 昭和（22）年2月27日 桃井氏現任の儘官権濫用の運動振。如何にも癪に障り申候。
桃井直美、昭和21年2月～22年3月岐阜県知事 翻刻あり
- 11 昭和（22）年4月25日 過日知事選挙に付御配意恐縮千万。強敵に勝利は天佑。
昭和22年4月5日、公選知事選挙 翻刻あり
- 12 昭和（22）年5月27日 片山内閣片鱗も整わず中央との交渉一切停滞。
昭和22年5月、片山内閣成立 翻刻あり
- 13 昭和24年2月28日 公務員給与規定違反で起訴。牧野良三氏等無罪を確信。
翻刻あり
- 313 望月圭介**
- 1 昭和14年7月26日 御話申上置候人も老兄との会談非常の希望。御帰京の時一報を。
翻刻あり
- 2 3月21日 ネーブル御笑味被下度。
- 314 本山彦一**
- 大正15年7月18日 台湾統治は重大なるも帝都現況より観て東京市長の任務は切要。
翻刻あり
- 315 本山人平**
- 1 昭和11年7月21日 有吉氏を訪問し井上英君を後任の最適任者と推薦。
翻刻あり
- 2 昭和18年3月22日 船舶不足の為台湾青果物輸移出減少、島内事業に主力注ぐ。内
台間交通恐威。
翻刻あり
- 316 森徹夫**
- 昭和11年8月29日 「涼風清談」は好評。発案者責任者として面目大に揚る。
413-2を同封 翻刻あり
- 317 八木逸郎**
- 昭和7年9月10日 民政系山本は出馬一旦断念。当選しても研究会入会は先約。
翻刻あり
- 318 八代六郎**
- 1 大正5年8月26日 旭日重光章拝受祝賀。
翻刻あり
- 2 大正6年12月12日 佐世保鎮守府着任。明日よりハザット庁内巡視。
翻刻あり
- 3 大正（14）年7月19日 政友会は益々たまらなくなり、離別の模様、田中は役落か。
翻刻あり
- 319 安田耕之助**
- 1 昭和7年9月6日 貴族院議員互選に高配を辱くし御礼。一層の援護頂きたく。
翻刻あり
- 2 昭和7年9月12日 貴族院議員互選立候補に際し尊慮得るも意外な敗戦。他日の精
進。
翻刻あり

320 安広伴一郎

- 1 大正13年7月30日 満鉄副社長急ぎ任命の要もなく。九月帰京予定。
翻刻あり
- 2 大正（14）年8月29日 拓殖局書記官笹川恭三郎御地に出張。小生の娘婿にて宜しく。
翻刻あり
- 3 大正（15カ）年7月13日 明日帰満。市長の儀やむを得ざる事。天岡直嘉閑散にて困居。
翻刻あり
- 4 昭和9年 月13日 飛躍の時機近き老兄の得意想う。来遊を待つ。
翻刻あり
- 5 昭和10年3月19日 幣原に邂逅の処、老兄此頃不平憂鬱の由。幣原君誘引来遊如何。
翻刻あり
- 6 昭和10年4月2日 小生、三四日滞京。箱根へ御来遊の時には電話乞う。
葉書

321 柳井義男

- 昭和11年8月15日 岩手県は東北振興ほか事務多端。石黒長官更生振興に懸命努力。
翻刻あり

322 山県治郎

- 昭和7年6月4日 推挙を得ば尊台の明を傷つける事致すまじく。
翻刻あり

323 山口安憲

- 1 昭和5年4月10日 御令息の件如何様にも御預かり申し上げます。
翻刻あり
- 2 昭和6年9月12日 腸チブスに罹り、天皇鹿児島県行幸に職責全うできず。辞表提出。
翻刻あり

324 山崎巖

- 1 昭和（20）年5月1日 枢府会議御欠席、お見舞い申上度存し乍ら失礼。空襲見舞い。
翻刻あり
- 2 8月27日 行啓時御来駕御礼。帰京後近衛公へ報告。日夜薄氷踏む感あり。
封筒欠 翻刻あり

325 山崎匡輔

- 昭和（22）年1月30日 小生文部次官兼官として帝大教授辞職。追放問題とは無関係。
翻刻あり

326 山路一善

- 昭和18年5月10日 過去我国を混乱状態に導きたる勢力駆逐に、宇垣を起用すべき。
翻刻あり

327 山下 亀三郎

- 1 大正14年11月17日 海防航路の事、大正八年以来台湾産業の輸出に対し当方多大の犠牲、調査されたく。
翻刻あり

- 2 昭和4年7月3日 このたび入閣なきは不思議。香坂氏とは昨日面会。
翻刻あり
- 3 昭和(11ヵ)年12月21日 愛弟川崎君、老台の心中。
- 4 昭和14年1月16日 近況。東山荘に入るも二月に入れば退去。
- 5 昭和14年3月31日 近況。明日より東山荘に。
- 6 昭和14年6月4日 雑感。海軍、釣り。
- 7 昭和16年1月14日 明治四十三年知事となられて拝顔を得て以来ここに三十有余年、
含雪の軸御受領下されば仕合。
翻刻あり
- 8 昭和17年4月25日 電話行き違い失礼。
- 9 昭和17年7月23日 川柳数句。
- 10 昭和17年8月2日 別荘地近況。
- 11 昭和17年8月12日 情報面白く拝見。宇垣老西野澤にあり。
- 12 昭和17年9月4日 寄せ書き拝受。
- 13 昭和17年9月21日 ご機嫌伺。
- 14 昭和17年10月26日 一日も早いご来荘を待つ。
- 15 昭和17年11月6日 授与式は今月末に実行、井上三郎を加える。
- 16 昭和17年11月12日 授与式は来春まで延期。
- 17 昭和18年3月20日 一昨日高輪に参り拝晤の様承知。
- 18 昭和18年6月28日 近況、雑感。
- 19 昭和18年6月29日 神奈川県警察部長高橋三郎引見乞う。
翻刻あり
- 20 昭和18年8月1日 一昨夜、ご入城のこと。
- 21 昭和18年9月8日 御前進講感激。
- 22 1月8日 湯河原へ行き関白立ち寄るも時日未定。

- 23 3月27日 名句拝誦。
封筒日付は3月26日 (付)伊沢川柳
- 24 5月9日 佳人差し向け看護可致。天下の日展云々。
- 25 5月26日 来月中頃でなければ東山荘入りは無理。
封筒欠
- 26 6月1日 安臥の無聊、釣り舟一艘贈呈。
- 27 6月21日 雑感。
- 28 7月3日 近況報告
封筒欠
- 29 7月18日 本年の軽井沢行事。
- 30 7月21日 浅間庵にてご引見乞う。
封筒欠
- 31 7月25日 狂歌。ぼつぼつ下山。
- 32 7月29日 雑感。
- 33 8月7日 二日、四日の模様承知。
- 34 8月11日 浅間庵開所。
- 35 8月18日 伏見よりの酒到着。
- 36 8月20日 近況。浅間庵の相撲。
- 37 8月22日 近況。
- 38 8月25日 近況。
- 39 8月27日 雑感。
- 40 8月31日 雑感。
- 41 9月1日 過日お叱りの安達の件遺憾、別紙メモ後藤閣下にも御移し願う。
「別紙」なし 翻刻あり
- 42 9月11日 ゴルフほか。
- 43 9月11日 坂本氏に面会。

- 44 24日 ご慰問感銘。
封筒なし
- 45 年月日不詳 雑感。
封筒なし
- 46 年月日不詳 (伊沢多喜男)宛 雑感。
封筒なし
- 47 年月日不詳 雑感。
(付)吉田孝太郎名刺
- 328 山田省三**
昭和22年8月19日 伊東市制実施。市長は新人と交代したし。
翻刻あり
- 329 山本厚三**
昭和(16)年11月30日 盲腸切開入院中、退院後熱海へ転地。
用箋として「政界閑話—伊沢多喜男老のハリキリ振り—」
(タイプ原稿、11月28日)の裏を使用。 翻刻あり
- 330 山本辰右衛門**
昭和18年11月9日 色紙恵贈賜り有り難く拝受。
翻刻あり
- 331 山本達雄**
年月日不詳 到来品之内割愛。
- 332 山本為三郎**
12月19日 恩賜の鴨拝領恐縮。
- 333 山本悌二郎**
1月21日 漢詩送付。
- 334 湯浅倉平**
- 1 大正12年9月26日 御来庁の際拝晤の予定つかず、身辺危険予見し難く。
翻刻あり
- 2 大正(13)年4月25日 憲政会景気宜しきに本党振るわず。官吏立候補は政府作戦変更。
翻刻あり
- 3 昭和2年12月19日 斎藤総督退官とともに辞表提出するが田中首相に押さえられる。
山梨氏の態度。
翻刻あり
- 4 昭和4年4月2日 大阪で初めての政談。一平漫画への抗議。
翻刻あり
- 5 昭和4年4月13日 浜口雄幸氏より東京市長就任打診。小生絶対不承諾の旨回答。
替わりの候補者提案。
翻刻あり

- 6 昭和(7)年11月11日 権藤成卿の弟、朝鮮新聞副社長権藤四郎紹介。
翻刻あり
- 7 昭和(8)年9月5日 内府辞職の取沙汰、あり得べからざる事と小生は確信。
封筒欠 翻刻あり
- 8 昭和11年8月27日 御来示の件は宮相・首相に希望申出置候
373-1に同封
- 9 昭和12年1月15日 本人へ確認のところ、児玉伯より研究会、岩田永田より同和会
入会を勧められ居る等の由。
翻刻あり
- 10 昭和12年9月25日 河井君のことは困惑。近衛首相にはこれまで人事につき申出ず。
翻刻あり
- 11 7日 対支関係、政府の施策は愚。石塚・添田等の蠢動出来損ない。
翻刻あり
- 335 湯川寛吉**
大正6年5月6日 令兄伊沢修二御逝去、痛悼の至り。
- 336 湯河元臣**
1 大正6年12月17日 病氣回復。義太夫に従事することとなる。
2 大正15年4月3日 記念日に築地喜楽に案内し懷慕の一会催したく相談。
翻刻あり
- 337 湯河元威**
4月21日 五月一日に上京の由、浜口下岡君に相談、みどり荘に一泊願う。
- 338 湯沢三千男**
1 昭和17年4月20日 先夜の御来光有り難く、失礼の段は悪しからず御海容賜りたく。
2 昭和18年1月2日 病氣にて体力の恢復に努め、新春再起御奉公出来うる。
417を同封 翻刻あり
3 5月15日 <中身欠>
封筒のみ
- 339 湯本武比古**
1 大正12年8月19日 大学問題の為め焦熱地獄に落ちたる思いも一段落を付け一安心。
(付)湯本名刺 翻刻あり
2 大正14年5月2日 昨日御発台の事承知。病氣は遠からず全癒出来得る。
翻刻あり
3 1日 樺山伯爵額の件、揮毫は徳川貴院議長に依頼したし。
封筒欠
- 340 楊肇嘉・劉明電**
11月6日 台湾移出米管理に関する意見。
封筒欠 翻刻あり

- 341 横光吉規**
4月6日 伊東に到着。伊沢来演の件。鉄道省、農林省に運動。
封筒欠 翻刻あり
- 342 横山助成**
1 昭和10年5月15日 会談への招待。水野、望月、秋田も参席承諾。
翻刻あり
2 3月21日 漢方睡眠薬送付。
3 年月日不詳 十八、九日頃帰倫。十九日過ぎ頃には御伺い申すべく。
葉書
- 343 芳沢謙吉**
7月23日 微熱臥床のため軽井沢へも遅延。全快後に参向仕るべく。
- 344 吉田茂**
1 昭和(20)年12月5日 主権回復第一とせば責任内閣成立急務。老首相を煩わせざるを得ず。
翻刻あり
2 昭和(20)年12月17日 共産系の活動恐るべきに付、高木海軍大将往訪依頼。
封筒欠 翻刻あり
3 昭和21年7月10日 来栖三郎へ貴意御伝願上候。同君身上、戦争裁判上目立たない方がよい。
翻刻あり
4 7月26日 荻外荘に唯今居る。国家再建の為全国遊説の覚悟。
翻刻あり
5 年月日不詳 共産分子の活動活発、当局への注意要請。
封筒欠 翻刻あり
- 345 吉野作造**
大正(12)年9月30日 火災保険金支払問題同感。
翻刻あり
- 346 吉野信次**
昭和13年7月28日 亡兄の書簡写し送付御礼。
翻刻あり
- 347 米原章三**
昭和7年10月18日 所属会派の件、同成会へ勧誘の懇書拝誦。研究会よりも交渉あり。
翻刻あり
- 348 米山梅吉**
1 昭和14年7月6日 近衛公に一昨日面晤。入会の件は御諒解願上候通り。
翻刻あり
2 昭和17年9月3日 行政の簡素化について。
翻刻あり

- 3 昭和18年1月4日 患部の苦痛何分にも堪え難く閉口。
- 4 昭和20年3月2日 和歌。明日、一寸帰村、拝眉。
- 5 昭和(20)年4月28日 空襲火事見舞い。
翻刻あり
- 6 昭和20年8月8日 情勢甚だ憂慮に堪えず。国民行進曲など付け焼き刃。
翻刻あり
- 349 羅万俔**
- 1 昭和15年10月10日 蔡培火と秋田拓相へ鄙見開陳。米穀政策など、その要点を報告。
(付)メモ「杉原佐一氏談」 翻刻あり
- 2 12月2日 連絡機関創設し、呉を事務に当たらしむる事適切。
翻刻あり
- 350 劉明朝**
- 昭和6年3月31日 殖産局、専売局又は内地の拓務省に推薦下されたく。
翻刻あり
- 351 林献堂・羅万俔**
- 1 昭和(7)年1月14日 日刊発行の件、許可指令書公布せられ一同歓喜。
翻刻あり
- 2 昭和9年7月10日 満州経営策の参考として台湾統治の治績に関する意見の具申。
翻刻あり
- 3 昭和11年盛夏 支那旅行中の言動に対し本島では世間の誤解、恐縮の至り。
翻刻あり
- 4 昭和18年1月22日 長谷川総督指導で高度国防国家建設に努力。特別志願兵応募盛ん。
翻刻あり
- 5 昭和19年1月11日 国民一人残らず戦闘配置につく可き秋。
翻刻あり
- 6 昭和20年1月13日 総督更迭、痛惜。本島への処遇改善案は微温的乃至は一部階級的に終わらざれば幸甚。
翻刻あり
- 7 昭和20年4月7日 貴族院議員就任挨拶、御礼。
翻刻あり
- 8 昭和 年4月4日 台湾米穀管理案審議の件。
翻刻あり
- 9 8月6日 近況挨拶。
- 352 若槻礼次郎**
- 大正(14)年7月12日 台湾の官有原野開墾希望の者紹介。
翻刻あり

- 353 鷺尾勘解治**
10月22日 三石鉦山辞任挨拶。
翻刻あり
- 354 渡辺勝三郎**
1 大正15年6月28日 東京市長受諾の真意察す。助役には青木鉄道次官を推薦。
封筒欠 翻刻あり
2 19日 揮毫依頼。
- 355 渡辺千冬**
1 昭和4年9月8日 また明日より疑獄沙汰。研究会は心配に及ばず、協議員選定は青牧両子と協議。
翻刻あり
2 1月8日 萩、九州旅行報告。御送付の珍品落手。
3 6月16日 羅漢会病欠の釈明に接し恐縮の至り。
翻刻あり
- 356 不明（栗山）**
8月18日 吉田の訪問受け初めて面会。
封筒欠 翻刻あり
- 357 不明**
10月8日 阪田達と話す。協議合意事項記録、理事諸氏に承認を求める事等。
翻刻あり
- 358 不明**
10月15日 海軍大将、知事、鉄道省課長等に協力を要請。
翻刻あり

伊沢多喜男発信書簡

- 359 伊沢多喜男 明石元長宛**
2月19日 相当の反響各方面に、貴族院の実相体験は一大収穫。
6-3に同封 翻刻あり
- 360 伊沢多喜男 池上秀畝宛**
8月5日 山水画恵贈への礼。座浅会に画家南薫造を加えると。
封筒なし 翻刻あり
- 361 伊沢多喜男 伊沢徳子宛**
1 昭和3年6月24日 町田、太田、川崎と京都行。軽井沢行は帰京後打合せ、柴田善三郎へ電話せよ。
翻刻あり
2 昭和4年4月23日 芦屋河井家に到着、両三日滞在。
葉書

- 3 昭和11年12月31日 松山、高知、徳島等を経て帰京。公債買入依頼取り消しを俊次郎へ電話せよ。
- 4 11月13日 香典の指示。
葉書
- 362 伊沢多喜男 石垣（倉治）宛**
昭和（11カ）年6月6日 総務長官更迭の場合賢台後任にと中川総督に提言してきたが、実行困難の様子。
封筒なし 翻刻あり
- 363 伊沢多喜男 石田馨宛**
昭和（11カ）年8月13日 警視庁官房主事、警務部長より宮沢文作警視に勇退勧告。市役所等への転職に尽力を。
31-2に同封 翻刻あり
- 364 （伊沢多喜男）（岩田宙造）宛**
昭和（20）年（10）月 法相就任めでたし。司法界の革正を希望。
封筒なし 翻刻あり
- 365 伊沢多喜男 大坪明府宛**
昭和（20）年6月2日 宗良親王奉賛会総裁・副総裁選定。長野県国民義勇隊顧問応諾せず。
封筒なし 翻刻あり
- 366 伊沢多喜男 岡田文秀宛**
昭和（15カ）年4月27日 <中身欠>
封筒のみ
- 367 伊沢多喜男 小倉宛**
2月20日 五千巻画詩集恵贈の礼状。
封筒なし
- 368 （伊沢多喜男）（小畑忠良）宛**
年月日不詳 伊庭、鈴木等諸先輩の住友精神が危機救済の大指針。
82に同封 翻刻あり
- 369 伊沢多喜男 風見章宛**
昭和（12）年9月12日 幣原台北大学総長親任待遇御配慮を願う、新聞紙に森岡長官帰台の記事懸念。近衛首相に自愛希望。
封筒なし 翻刻あり
- 370 伊沢多喜男 上山満之進宛**
- 1 大正（15）年7月15日 事務引継は後藤長官が代行する。世間が自分の進退で騒がしい。
98-1とともに485に同封 翻刻あり
- 2 昭和（3）年8月1日 小野塚夫人の件。
封筒なし

- 371 伊沢多喜男 賀屋興宣宛**
昭和（18）年7月15日 台湾統治問題。塩糖会社重役問題、田口君が社長候補者、某重役候補者は岡田現社長の親近。
99-2に同封 翻刻あり
- 372 伊沢多喜男 河井昇三郎宛**
年月日不詳 <中身欠>
封筒のみ
- 373 伊沢多喜男 河井弥八宛**
- 1 昭和11年8月29日 勅撰問題の成否は宮相の熱と力に在る。叙勲のことは最善尽くす。
334-8を同封 翻刻あり
 - 2 昭和（21）年9月27日 橋本君同成会入会御同慶。出来得る限り補導致度。
373-5を同封 東京都成立後 翻刻あり
 - 3 昭和21年10月30日 神奈川、福島の前欠は同成会系より選出せしむべく努力。
翻刻あり
 - 4 昭和22年10月23日 甘藷に関する方策大賛成。本運動の副長的協力者容易に適任者を発見せず。
翻刻あり
 - 5 昭和 年5月28日 吉田首相と交渉の結果来週上京面談となる。
373-2に同封 翻刻あり
 - 6 昭和(11カ)年 (河井弥八)宛 一木男に面会、貴族院議員の伴宮相には強く迫ると。叙勲は宮内省在勤中の功労に対するもの。
封筒なし 後半欠 翻刻あり
- 374 伊沢多喜男 川島浪速宛**
昭和23年1月20日 信濃毎日新聞の所報、令嬢芳子様の件の御心情恐察。
109に同封 翻刻あり
- 375 伊沢多喜男 河田烈宛**
昭和（9）年7月11日 岡田首相に挨拶せず失礼。首相に拝晤したい。
(封筒表書：河田書記官長 山本達雄男 永井柳太郎氏
添田文部政務次官 書東原稿) 翻刻あり
- 376 伊沢多喜男 黒河内透宛**
- 1 昭和17年7月28日 前首相平沼の民国派遣は非常識、外務大臣以下で可。予は近衛と東条を近しめんとす。東京市問題醜状暴露。
翻刻あり
 - 2 昭和（20）年5月6日 同期生知事其他勅任に進出焦慮することもあるべし。しかし人生塞馬の如し。
翻刻あり
- 377 伊沢多喜男 後藤文夫宛**
年月日不詳 <中身欠>
封筒のみ

378 伊沢多喜男 近衛文麿宛

- 1 昭和 (13) 年12月17日 同成会は菅原氏枢府へ転出、高田死去で数減少存立危うし。勅選八氏中四名へ入会を勧誘してほしい。
封筒なし 翻刻あり
- 2 昭和(11カ)年 ゴルフのプレーに不安一掃。山下使用一案。精神総動員は中央機関では効果少なく実行運動望む。
翻刻あり

379 伊沢多喜男 小橋一太宛

- 昭和 (12) 年6月29日 東京市政に意見あり。賢台当選はボス退治の逆作用の顕れ、努力尽瘁を切望。
封筒なし 翻刻あり

380 伊沢多喜男 小室翠雲宛

- 1 9月12日 南画院、環堵塾のこと新聞紙で承知。
- 2 9月13日 南画院、環堵画塾解散のこと新聞紙で承知。
封筒なし
- 3 年月日不詳 (小室翠雲カ)宛 南画院、環堵画塾の件。
封筒なし

381 伊沢多喜男 斎藤隆夫宛

- 昭和 (20) 年5月27日 戦災見舞の礼。
148-2に同封 翻刻あり

382 伊沢多喜男 (坂田幹太)宛

- 年月日不詳 松尾鉦山、中村正雄への紹介条同封。
150-2に同封 「紹介状」なし 翻刻あり

383 伊沢多喜男 阪本宛

- 10月15日 一昨日は長座奉謝。対外関係懸念。
封筒なし

384 伊沢多喜男 幣原喜重郎宛

- 1 昭和 (7) 年8月4日 大平氏勅選の件。小生見込み立たず大体貴見と同様。
165-5に同封 翻刻あり
- 2 昭和 (20) 年10月9日 首相就任めでたし。小生は、背後から貴兄のために応援することになった。
封筒なし 翻刻あり
- 3 年月日不詳 午餐快談の礼。五日間の東京忍苦生活と不眠不休の心身虐待のため疲労困憊。
葉書 翻刻あり

385 伊沢多喜男 幣原坦宛

- 1 昭和 (12カ) 年7月8日 辞職御決行、台湾教育前途のため不安。台北大学創立前より十数年の努力尽瘁に敬意。
翻刻あり

- 2 昭和22年9月9日 (春邱(幣原坦カ)宛) 報徳社運動を力説。敗戦デンマークの復興に学び食糧は連合国の補助を受ける要なし。
封筒なし 翻刻あり
- 386 伊沢多喜男 下島平治宛**
3月1日 天然クラブ総会断り状。
- 387 伊沢多喜男 城南宛**
1月14日 色川三中の貢献に御懇書、深謝。
封筒なし
- 388 伊沢多喜男 長野県庁杉山土木課長宛**
年月日不詳 <中身欠>
封筒のみ
- 389 伊沢多喜男 須田以素宛**
7月31日 仰せ越の事柄は須田家一家庭内の秘事。小生が立入るは百害ありて一利なし。
- 390 伊沢多喜男 住友吉左衛門宛**
大正(10)年3月12日 祝金に対する礼状。
188に同封 翻刻あり
- 391 伊沢多喜男 添田敬一宛**
昭和(9)年7月20日 文部省政務次官就任のお祝い。役不足の評あるが、松田文相を輔くもの他に適任者なし。
375に同封 翻刻あり
- 392 伊沢多喜男 (館林三喜男)宛**
昭和(22カ)年 河井君の参議院議員立候補は絶対に必要。
206-2に同封 翻刻あり
- 393 伊沢多喜男 田中武雄宛**
1 昭和(20)年3月2日 一億国民最後まで戦はざるべからず。
208-5に同封 翻刻あり
2 昭和(20カ)年 (田中武雄)宛 賢台の進退例の一輩の排斥が原因にあらずや。
208-5に同封 翻刻あり
- 394 伊沢多喜男 東条英機宛**
1 昭和17年4月2日 本官感ずる処有之辞任致度。
217に同封 翻刻あり
2 昭和(17)年(4)月 枢密顧問官辞任致度。右執奏相成度候也。
274-1に同封 翻刻あり
- 395 伊沢多喜男 永井柳太郎宛**
昭和(9)年7月15日 退閣多忙中の来訪恐縮。拓相在職中の実情承りたし。「これの家」には後藤文夫・堀切善次郎等来泊あり。
375に同封 翻刻あり

396 伊沢多喜男 仲田（傳之・）宛

昭和（7カ）年9月6日 多額議員選挙は無競争で当選確実、同成会入会を切望。
同成会の特色。
封筒なし 翻刻あり

397 伊沢多喜男 中村舜二宛

昭和（22）年10月10日 御申越の件遺憾ながら御断り。
封筒なし 234-1参照

398 伊沢多喜男 中村房次郎宛

昭和（14）年4月5日 伊東御別荘は去る二日より拝借。当分御厄介に相成る。
235-6に同封 翻刻あり

399 伊沢多喜男 中村正雄宛

- 1 昭和（19）年9月9日 中村房次郎御恩賜、慶賀。半井横浜市長、藤原神奈川県知事。
237-1に同封 翻刻あり
- 2 昭和（22）年（7）月 （中村正雄）宛 東京都長官松井春生君を招致し貴電を示し
天皇陛下松尾鉦山臨幸懇願方を委嘱。
237-7に同封 翻刻あり
- 3 昭和（22）年（7）月 （中村正雄）宛 貴電七月三日当地にて受領。同日当地滞在中の全東京都長官松井春生君を招致。
237-7に同封 翻刻あり

400 伊沢多喜男 新渡戸稻造宛

昭和（7）年4月13日 舌禍事件は国民一部の無理解。先覚者の努力不足。今回御渡米。
246に同封 翻刻あり

401 伊沢多喜男 長谷川清宛

昭和（16）年4月3日 斎藤長官台湾統治方針を縷述、差別観や焦燥強圧的同化政策は是正見込。台湾より来信、貴覽に供す。
封筒なし（付）書簡草稿（差出人不明）1通 翻刻あり

402 伊沢多喜男 浜口雄幸宛

- 1 大正（12）年8月20日 加藤首相重態。加藤子爵と対処法言及。江木千之に面会、政友内閣出現に嘆息。
翻刻あり
- 2 昭和（4）年7月1日 内閣人事につき意見。
封筒なし 翻刻あり
- 3 昭和（4）年7月1日 内閣人事につき意見。
翻刻あり
- 4 昭和（4）年10月12日 若槻氏軍縮会議全権委員を快諾せず。代替案。
封筒なし 前半部分欠 翻刻あり
- 5 昭和（5カ）年1月19日 革正調査会委員に松平、青木快諾。産業調査会委員の件、岩倉男より別紙。公正会は松岡に反感。
封筒なし 「別紙」なし 翻刻あり

- 403 伊沢多喜男 針塚宛
6月5日 内外情勢朝夕変わり、講演出張懸念。
封筒は信濃教育会から伊沢宛。 翻刻あり
- 404 伊沢多喜男 (牧野伸顕) 宛
昭和(22)年 修二関係具申書送付御礼。追放令、清水澄自殺。
285に同封 前後部分欠 翻刻あり
- 405 伊沢多喜男 増田宛
5月31日 持参品受領の礼。
封筒なし
- 406 伊沢多喜男 町田忠治宛
昭和(6)年9月2日 必要なら小生は農政引受け致すべし。鉄道会
議員を譲り度。
287-3に同封 翻刻あり
- 407 伊沢多喜男 松根豊宛
昭和(17)年9月1日 狂歌感想。
封筒なし 293参照
- 408 伊沢多喜男 水野昌雄宛
昭和(13)年11月30日 東城南遷図に関し思い違いの点を訂正。
303に同封 翻刻あり
- 409 伊沢多喜男 三土忠造宛
9月17日 北堂逝去への弔文。
封筒なし
- 410 伊沢多喜男 三村宛
昭和(11)年3月8日 陛下の軍隊が反乱し重臣虐殺痛嘆。石楠木のステッキ贈与への
礼。
封筒なし
- 411 伊沢多喜男 宮沢宛
8月21日 身上の件は辞命を受取るまでは未定、油断なく努力を。
封筒なし 翻刻あり
- 412 伊沢多喜男 望月宛
9月2日 今夕近衛公の招宴で「あかね」に。拝芝できず遺憾。
封筒なし 翻刻あり
- 413 伊沢多喜男 森徹夫宛
1 昭和(11カ)年8月19日 「涼風清談」の一回分、マクドナートに対する英国民の態度は
訂正取消を。
封筒なし 翻刻あり
2 昭和(11)年8月31日 「涼風清談」好評に貴下の御満足さこそと被存候。
316に同封 年は同封書簡による 翻刻あり

414 伊沢多喜男 (山崎巖カ) 宛

昭和(20)年(9)月(12)日 近衛国務相と面談、卑見聴取願う。台湾人問題。
封筒なし 一部欠 翻刻あり

415 伊沢多喜男 山下亀三郎宛

- 1 昭和17年7月21日 浅間庵自由使用は妙案。来軽中の面々は近衛・細川・松井・内田等。
415-3を同封 翻刻あり
- 2 昭和(18カ)年6月25日 貴著『沈みつ浮きつ』精読、好著。
封筒なし 翻刻あり
- 3 昭和18年8月5日 川崎卓吉、浜口雄幸、湯浅倉平等の記念事業に没頭。
415-1に同封 翻刻あり
- 4 昭和18年8月6日 疲労執筆不能は当然。名誉冠高輪本邸より入手。
封筒なし
- 5 年月日不詳 歓待の礼。禅僧と門徒その内ケリつく。
葉書

416 伊沢多喜男 山本達雄宛

昭和(9)年7月13日 斎藤内閣は満身創痍、綱紀問題で存続許さず。岡田内閣は後藤文夫中心に組閣成立、奔走し疲弊困憊。
375に同封 翻刻あり

417 伊沢多喜男 湯沢三千男宛

昭和(18カ)年1月4日 台湾の件適当に処理願う、枢府本会議で意見開陳、首相同意。
338-2に同封 翻刻あり

418 伊沢多喜男 吉田茂宛

年月日不詳 <中身欠>
封筒のみ

419 伊沢多喜男 米山梅吉宛

昭和(20)年5月13日 閣僚その他人事感服せず。鈴木首相の成功望む。
封筒は米山梅吉から伊沢多喜男宛 翻刻あり

420 伊沢多喜男 宛先不明

昭和(2カ)年 石原健三、山本達雄に面会、十五銀行問題、一木宮相問題。
後半部分欠 翻刻あり

421 伊沢多喜男 宛先不明

昭和9年 伊沢多喜男頌徳碑問題関係。

422 伊沢多喜男 宛先不明

昭和(9)年 岡田組閣後藤中心适当。重臣会議に斎藤、高橋の参列許すべきにあらず。
翻刻あり

423 伊沢多喜男 宛先不明

昭和(9)年 高遠閣建設問題関係。

- 424 伊沢多喜男 宛先不明
昭和11年1月 衆議院議員総選挙立候補の木下信の推薦状。
印刷 封筒なし 翻刻あり
- 425 伊沢多喜男 宛先不明
昭和(18)年 都長官の件大達茂雄君に内定、最適任者。東条首相へは賢台より伝言を。
封筒なし 翻刻あり
- 426 伊沢多喜男 宛先不明
昭和(18カ)年 御引見長談義の礼。恩賞院の件は原案作成前に法制局長官と懇談したし。
封筒なし 翻刻あり
- 427 伊沢多喜男 宛先不明
昭和(20)年(9)月(14)日 東郷元外相当地出発。東条の場合とは趣を異にしやや満足。
封筒なし
- 428 伊沢多喜男 宛先不明
昭和(22)年(7)月 天皇御臨幸につき小生に是非骨折られ度き旨同鉦山の中村正雄社長より申越しあり。
237-7に同封 翻刻あり
- 429 伊沢多喜男 宛先不明
3月10日 別紙候補者いずれも東京市政革新のため欠くべからず、一票と知友への推薦状を。
封筒なし 「別紙」なし 内容から昭和8, 12, 16年のいずれか 翻刻あり
- 430 伊沢多喜男 宛先不明
年月日不詳 外交意見。日露独の三角同盟云々は不謹慎。
前半欠 翻刻あり
- 431 伊沢多喜男 宛先不明
年月日不詳 満州移民視察奮励を切望。満鮮台の日本移民は土着民軽視し共存共栄妨げる原因。
後半欠 封筒なし 翻刻あり
- 432 伊沢多喜男 宛先不明
年月日不詳 微力を致せる学校林は捨てゝ顧みられず長大息を禁ずる能わず。
前半・後半欠 封筒は長野県林務課長から伊沢宛 翻刻あり
- 433 伊沢多喜男 宛先不明
年月日不詳 東京会議員選挙、投票依頼。
後半欠 封筒なし 翻刻あり
- 434 伊沢多喜男 宛先不明
年月日不詳 枢府は議長、副議長始め追放令に触るゝ者十名に及ぶ模様。
645に同封 翻刻あり

435 伊沢多喜男 宛先不明

年月日不詳

若槻首相引退に関する近衛の見解。
後半欠 封筒なし 翻刻あり

第三者間書簡

436 伊沢勝三郎

3月21日

(須田泰巖宛) 雑感。

437 伊沢修二

明治8年～11年

(高遠大人・伊沢大人・森大人・妻千代宛)
伊沢修二米国留学中書簡綴

438 伊沢ちよ

1 明治29年11月8日

(伊沢末五郎宛) <中身欠>
封筒のみ

2 明治29年11月21日

(伊沢末五郎宛) 伊沢家関係。

3 2月27日

(伊沢末五郎宛) 伊沢家家計について。

4 11月16日

(伊沢寛宛) 伊沢家関係。
封筒欠

5 年月日不詳

(伊沢寛宛) 返書失念詫び。
封筒欠

439 石原富貴子

昭和11年8月31日

(伊沢徳子宛) 病氣見舞い礼状。
封筒は石原健三から伊沢多喜男宛

440 井上友一

4月25日

(床次竹二郎宛) 戦後経営、地方官の浮腰と栄転心は害毒。
予算事業・制度は閣下が裁決し実行手段採用を。
印刷 前半欠 封筒欠

441 岡田忠彦

昭和24年8月16日

(伊沢龍作宛) 葬儀欠席詫状。

442 加藤恒忠

大正11年5月13日

(石原操宛) 内務部長旧宅拝借依頼。

443 加藤春路

1 7月13日

(伊沢徳子宛) 贈答品お礼。
封筒欠

2 12月17日

(伊沢徳子宛) 欠礼詫状。

- 3 年月日不詳 (伊沢徳子カ)宛 大浦奥様のお話をうかがい同情。
封筒欠
- 444 幣原喜重郎**
昭和13年4月10日 (斎藤博宛) 斎藤博駐米大使宛農林事務官黒河内透氏紹介状。
(付) 伊沢多喜男封筒 幣原喜重郎宛 1枚
- 445 須田 以素**
昭和15年8月6日 (伊沢徳子宛) 改年の祝い。
葉書
- 446 須田静海**
昭和18年12月6日 (内田孝蔵宛) 龍水会への賀詞送付。
- 447 武井辰磨**
昭和18年8月14日 (伊沢徳子宛) 退官の許し得るに至らず。上京の節拝願う。
- 448 田中耕太郎**
昭和30年7月22日 (伊沢徳子宛) 伊沢七周忌欠席の件。
- 449 藤浪榎**
8月20日 (伊沢徳子宛) ご厄介になり楽しく過ごさせて頂きましたこと感謝。
- 450 本多静六**
昭和24年8月15日 (伊沢多喜男遺族宛) 弔詞。
葉書
- 451 三宅恒永**
大正13年6月6日 (遠島哲男宛) 川村社長宛貴事業援助申出たるも直ちに解決は困難。
書簡写真(雑誌等に掲載か)の切り抜き
- 452 山本辰右衛門**
昭和18年8月1日 (山下亀三郎宛) 軽井沢の伊沢へ日本酒送付。

伊沢高子結婚関係書簡

- 453 太田資行**
大正7年6月11日 伊沢高子結婚関係
(付) 封筒1枚(表書:重要書信 高子結婚関係書類)
454~460同封

- 454 大平駒榎**
大正7年11月3日 伊沢高子結婚関係
- 455 小高親**
大正7年6月24日 伊沢高子結婚関係
(付) 小高親書簡 (伊沢多喜男宛 6月11日付)
- 456 河井重蔵**
大正7年11月5日 伊沢高子結婚関係
- 457 柴田善三郎**
- 1 大正 (7) 年6月12日 伊沢高子結婚関係
封筒欠
 - 2 大正7年7月15日 伊沢高子結婚関係
 - 3 大正 (7) 年8月25日 伊沢高子結婚関係
封筒欠
 - 4 大正7年8月27日 伊沢高子結婚関係
電報
 - 5 大正 (7) 年8月29日 伊沢高子結婚関係
電報
 - 6 大正 (7) 年9月25日 伊沢高子結婚関係
 - 7 大正7年9月30日 伊沢高子結婚関係
 - 8 大正 (7) 年10月8日 伊沢高子結婚関係
 - 9 大正7年10月31日 伊沢高子結婚関係
- 458 伊沢多喜男**
- 1 大正 (7) 年 (柴田善三郎) 宛 伊沢高子結婚関係
封筒は柴田善三郎から伊沢多喜男宛
 - 2 大正 (7) 年6月18日 (柴田善三郎) 宛 伊沢高子結婚関係
封筒なし
 - 3 昭和19年3月20日 (河井昇三郎・たか子宛) 伊沢高子結婚関係
- 459 (河井弥八カ)**
年月日不詳 (柴田善三郎) 宛 伊沢高子結婚関係
封筒欠
- 460 柴田伊よ**
- 1 大正7年5月22日 (伊沢徳子宛) 伊沢高子結婚関係

- | | | |
|---|-------------|--------------------------------------|
| 2 | 大正7年7月26日 | (伊沢徳子宛) 伊沢高子結婚関係 |
| 3 | 大正(7)年8月27日 | (伊沢徳子宛) 伊沢高子結婚関係
封筒は柴田善三郎より伊沢多喜男宛 |

その他

461 空封筒

「書柬 大正七年～十三年」との書き込みおよび内容物
(現在欠) についての注記あり。

書類の部

和歌山県関係

- 462 伊沢知事閣下和歌山県会ニ於ける御説明（明治四十年通常県会） 1綴(20枚)
明治（40）年 タイプ 和歌山県罫紙
- 463 伊沢知事閣下和歌山県会に於ける御説明（明治四十一年通常県会） 1綴(42枚)
明治（41）年 タイプ 和歌山県罫紙
- 464 紀伊新報切抜 1枚
昭和6年5月20日
和歌山県知事在任中の思い出
- 465 伊沢多喜男閣下和歌山県知事在官中ノ森林行政ニ関スル治績概要 1綴(17枚)
昭和（14）年 ペン書 和歌山県罫紙
（付）伊沢宛和歌山県知事封筒（昭和14年12月29日） 1枚

愛媛県関係

- 466 〔住友鉱業所煙害賠償問題関係図表〕 10枚
昭和11年9月15日別子銅山林務局長渡辺吾一君持参（封筒表書）
官庁農林関係者表・損害等の年次表・硫黄量等の推移グラフ
（付）封筒 1枚
- 467 愛媛県ノ林政上ニ残サレタル伊沢知事ノ事績 1綴(40枚)
昭和14年4月 ペン書 便箋
- 468 海南新聞切抜 2枚
昭和15年2月27日・29日
「県下公有林野整理の跡を顧みて」 元林務課長渡部吾一
（付）伊沢多喜男宛渡辺吾一封筒（昭和15年3月7日） 1枚
- 469 公有林野経営品評会審査調書 愛媛県 1綴(29丁)
謄写

警視庁関係

470 - 1 **〔警視庁幹部名簿〕** 1綴(2枚)
大正(4)年 墨書 警視庁罫紙
書込あり
(付)封筒 1枚

2 **警察署長名** 1綴(4枚)
大正 年 墨書 警視庁罫紙
書込あり

台湾関係

471 - 1 **御赴任二伴フ事項 台湾総督府** 3枚
大正(13)年 謄写 台湾総督府罫紙
(付)封筒 1枚

2 **〔御持参ヲ必要ト思ハルモノ〕** 2枚
大正(13)年 ペン書 台湾総督府罫紙

3 **伊沢総督着任当初日程** 2枚
大正(13)年 ペン書 台湾総督府罫紙

472 **中央研究所善後対策ノ内容ニ関スル件** 1枚
大正14年9月 ヲ ペン書 台湾総督府罫紙

473 **学事統計** 1綴(12枚)
大正14年10月 謄写

474 **台湾拓殖会社設立ノ新聞記事ニ対スル民情ノ件通報(新警秘第一五、
一七九号ノ一) 新竹州知事古木章光 警務局長各州知事戸** 1綴(2枚)
大正14年11月21日 謄写

- 475 **大学新営費要求ニ関スル書類** 1綴(28枚)
大正(14)年 ペン書 台湾総督府罫紙
- 476 **就学歩合、入学志願者及児童数** 1綴(16枚)
大正(14カ)年 ペン書 台湾総督府罫紙
- 477 **大学創設ニ関スル調査** 同文2綴(13枚)
大正(14カ)年 謄写
- 478 **大学創設経費ニ関スル調査** 1綴(43枚)
大正(14カ)年 謄写
- 479 **台湾大学設立ノ主旨** 1綴(5枚)
大正14年頃カ 謄写
- 480 **台湾大学ニ文学部併置ノ理由** 1綴(3枚)
大正14年頃カ 謄写
- 481 **新聞記事切抜帳** 1綴(15枚)
大正15年6月8日～28日
伊沢台湾総督東京市長就任関係
- 482 **〔伊沢総督転任説に対する反響調〕** 1綴(24枚)
大正15年6月25日～27日 謄写・ペン書
伊沢総督ノ市長説ニ付テ 金田囑託報告 大正15年6月25日・総督交迭説ニ対スル民情ノ件(写) 台北州知事 警務局長宛 大正15年6月27日・伊沢総督東京市長就任内諾セラレタリトノ通信ニ対スル台南在住内地人有力者ノ言動ノ件通報(写) 台南州知事 警務局長・各州知事庁長宛 大正15年6月26日
- 483 **伊沢総督東京市長就任説ニ対スル民情** 1綴(21枚)
大正15年6月27日 謄写 台湾総督府罫紙
後半部欠

- 484 **〔市長就任賛否調〕** 1綴(7枚)
 大正15年 ペン書 台湾総督府出張所罫紙
 (付) 封筒 1枚
- 485 **〔警察機関独立関係〕** 1綴(62枚)
 大正 年 謄写
 警察機関独立ニ関スル件・警察機関独立後ニ於ケル援助事務・警察機関ノ独立ト
 保甲問題・警察機関ノ独立ト戸口事務
- 486 **台湾銀行の救済並にその善後策に就て 赤司初太郎** 1綴(11枚)
 昭和(2)年4月27日 タイプ 罫紙
- 487 **自創立当時至昭和五年 伊沢財団事業概要** 1綴(13枚)
 昭和5年カ 墨書 台湾総督府罫紙
 (付) 封筒 1枚、 財団法人伊沢財団寄附行為 謄写 同文2綴(各2枚)
- 488 **昭和八年伊沢財団内地視察員感想記 財団法人伊沢財団** 1綴(87枚)
 昭和9年7月14日 謄写・墨書
 (付) 伊沢財団長平塚広義事業概況書送付状(昭和9年7月14日) 1枚(合綴)、
 財団法人伊沢財団事業概況書 5枚(合綴)
- 489 **台南州下二大貯水池ヲ築設スルコトニ関スル意見
 台南州知事川村直岡** 1綴(17枚)
 昭和14年4月 謄写
- 490 **台湾問題に関し衆議院論議の跡(2)** 同文2綴(10枚、7枚)
 昭和(15)年3月2日 謄写
 2綴のうち1綴は後半部欠
 台湾移出米管理問題
- 491 **台湾工業化ノ經過大様 〔拓務省〕殖産局** 1綴(45枚)
 昭和16年2月 タイプ

- 492 **楊肇嘉二関スル件** 4枚
 昭和18または19年カ ペン書 中支那振興株式会社罌紙
 (付) 封筒 1枚
- 493 **台湾統治に関する意見 楊肇嘉** 21枚
 昭和 年 ペン書 退思莊罌紙
 (付) 封筒 1枚
- 494 **塩水港製糖株式会社内紛事件に就いて** 1綴(21枚)
 昭和 年 謄写
 (付) 封筒 中川健蔵 伊沢多喜男宛 昭和8年4月21日 (消印) 1枚
- 495 **教育沿革史 清朝時代蛮人教育 (未定稿)** 1綴(34枚)
 謄写
 『台湾総督府教育沿革史』部分
- 496 **毎日新聞切抜** 3枚
 昭和28年1月26日
 台湾国府要人、知名士より伊沢夫人への療養費寄付

貴族院関係

- 497 **錦水会記録** 1冊
 昭和2年9月20日～5年2月2日 墨書
- 498 **〔昭和会館と協同会・幸倶楽部の所有関係に関する書類断片〕** 1枚
 昭和3年2月 タイプ
 前後欠
- 499 **昭和五-六年議会で重要事項覚書** 3枚
 昭和 (6) 年 ペン書 大蔵省罌紙 (1枚)
 〔浜口首相登院に関する意見〕 昭和 (6) 年、 貴族院議員ニシテ特殊銀行会社
 役員調 昭和6年2月4日現在
 (付) 封筒 1枚

- 500 **新聞切抜** 2枚
 昭和6年
 浜口首相登院問題
- 501 - 1 **貴族院制度調査会職員異動報告（昭和十一、十二、十八第三回総会以後）** 1枚
 昭和11年12月18日 タイプ
- 2 **貴族院制度調査会委員議席表** 1枚
 昭和12年7月6日現在 タイプ
- 3 **貴族院制度調査会総会議席図** 1枚
 昭和 年 タイプ
- 502 **〔徳川家達貴族院議長の事績に関する質問並に回答〕〔伊沢多喜男〕** 1綴(11枚)
 昭和 年 タイプ・ペン書 貴族院罫紙

選挙革正関係

- 503 **選挙革正会に関する記事（新聞切抜帳）** 1綴(11枚)
 昭和3年1月26～3月13日
 各切抜の糊付が甘いので、閲覧注意。
- 504 **選挙運動に関する怪文書事件（新聞切抜帳）** 1綴(7枚)
 昭和3年2月11日～23日
 各切抜の糊付が甘いので、閲覧注意。
- 505 **〔選挙革正審議会名簿〕** 2綴(2枚・4枚)
 昭和5年 謄写・ペン書 内閣罫紙
 衆議院議員選挙革正審議会職員名簿（昭和五年七月一日現在） 1綴（2枚）、
 [特別委員名簿] 1綴（4枚）

506 腐敗、及不正行為の防止に関する英国の法制 清瀬一郎 1綴(24枚)
謄写

507 全国教化連合団体代表者大会ニ於ケル中央教化団体連合会提出協議事項 1綴(2枚)
タイプ

満州関係

508 満洲御視察御参考事項 1綴(16枚)
大正 年 ペン書

509 〔日満議定書〕(写) 〔関東庁〕 1綴(3枚)
昭和7年9月15日 タイプ 関東庁用紙
昭和(9カ)年9月8日伊沢宛大場鑑次郎書翰(書翰の部72-1)に同封か

510 対満機構問題ニ関スル声明其ノ他 〔拓務省〕管理局 1綴(19枚)
昭和9年10月 タイプ 拓務省用紙

511 八田、森重両課長現地ヨリノ電報及復命書 1綴(34枚)
昭和9年10月 謄写

512 在満機関調整問題 1綴(17枚)
昭和9年11月4日稿 謄写

513 在満機構改革ノ要綱ト其ノ批判 1綴(6枚)
昭和(9)年 タイプ

514 現役軍人の行政部進出に就て 同文2綴(各7枚)
昭和(9)年 タイプ

- 515 **朝鮮ニ於ケル憲兵警察制度ノ考察** 1綴(74枚)
昭和 年 タイプ

枢密院関係

- 516 **彈正台設置ニ関スル意見** 1綴(9枚)
昭和19年1月13日 タイプ

- 517 **責任当局ノ一特ニ外交面ニ於ケル一「性格切換」ニ関スル意見** 10枚
昭和19年1月20日 タイプ

- 518 - 1 **〔朝鮮及台湾在住民政治処遇問題関係史料 諮問および答申等〕** 1綴(18枚)
朝鮮及台湾財住民政治処遇調査会
昭和20年 タイプ

諮問、朝鮮及台湾財住民政治処遇調査会会長小磯国昭報告（昭和20年2月12日）、朝鮮及台湾財住民政治処遇調査会第三回総会に於ケル水野第一部長報告要旨、朝鮮及台湾財住民政治処遇調査会会長小磯国昭報告（昭和20年3月4日）、朝鮮及台湾財住民政治処遇調査会第四回総会ニ於ケル山崎達之輔第二部長報告要旨

- 2 **〔朝鮮及台湾在住民政治処遇問題関係史料 参考資料〕** 1綴(20枚)
〔朝鮮及台湾財住民政治処遇調査会〕
謄写

- 3 **〔朝鮮及台湾在住民政治処遇問題関係史料 参考資料其ノ二〕** 1綴(41枚)
〔朝鮮及台湾財住民政治処遇調査会〕
謄写

- 519 **〔王公家規範改正案 伊沢顧問官宛〕** 1綴(5枚)
謄写

- 520 **〔憲法改正に関する枢密院審査報告〕** 1綴(10枚)
昭和21年6月3日 謄写
前半部欠

- 521 **枢密院職員録** 1冊
昭和21年7月1日 謄写
書込あり
- 522 **〔裁判所法〕** 16枚
昭和21年カ タイプ
- 523 **参議院議員選挙法施行令案** 1綴(14枚)
昭和 年 謄写
伊沢顧問官宛

治山治水事業関係

- 524 **高遠町学校林設置に関する阪井清彦氏宛書翰 伊沢多喜男** 1枚
明治42年12月19日 活版
- 525 - 1 **五万分一地形図 高遠 大日本帝国陸地測量部** 1枚
昭和8年1月30日
上伊那郡学校林予定地の書込あり
- 2 **五万分一地形図 瀬野市 大日本帝国陸地測量部** 1枚
昭和7年2月28日
上伊那郡学校林予定地の書込あり
- 526 **学校林設置助成計画 〔長野県〕** 1綴(20枚)
昭和13年11月19日 ペン書(カーボンコピー) 長野県罫紙
(付) 長野県知事大村清一送付状 伊沢多喜男宛 昭和13年11月19日(合綴)
- 527 **上伊那郡藤沢村学校林施業要領 長野県農林技手池田覚明** 1冊
昭和14年8月 ペン書
(付) 上伊那郡藤沢村学校林基本図 1枚

- 528 **上伊那郡河南村学校林施業要領 長野県農林技手池田覚明** 1冊
 昭和14年8月 ペン書
 (付) 上伊那郡河南村学校林基本図 1枚
- 529 **上伊那郡長藤村学校林施業要領 長野県農林技手笠原伴一郎** 1冊
 昭和14年8月 ペン書
 (付) 上伊那郡長藤村学校林施業基本図 1枚
- 530 **上伊那郡美和村学校林施業要領 長野県農林技手宮崎光治** 1冊
 昭和14年8月 ペン書
 (付) [上伊那郡美和村大字溝口字矢沢日影一七六番口ノ一原野地図] 1枚
- 531 **上伊那郡三義村学校林施業要領 長野県農林技手宮崎光治** 1冊
 昭和14年8月 ペン書
 (付) 上伊那郡三義村学校林基本図 1枚
- 532 - 1 **開会之辞** 1綴(112枚)
 昭和14年9月30日 ペン書
 治山治水関係講演会記録 (於信州高遠町高遠閣)
- 2 **伊沢先生挨拶** 1綴(33枚)
 昭和14年9月30日 ペン書
 翻刻あり
 治山治水関係講演会記録 (於信州高遠町高遠閣)
- 3 **郷土山河の感化力 伊沢多喜男** 1綴(20枚)
 昭和14年9月30日 ペン書
 翻刻あり
 治山治水関係講演会記録 (於信州高遠町高遠閣)
- 4 **香坂昌康先生講演** 1綴(52枚)
 昭和14年9月30日 ペン書
 治山治水関係講演会記録 (於信州高遠町高遠閣)

533	〔学校林関係講演草稿〕 本多静六 昭和 年	ペン書	帝国森林会用紙	1綴(6枚)
534 - 1	実地造林上ノ注意 本多静六 昭和14年 年は封筒による 付：？山雅？封筒 伊沢多喜男宛 昭和14年12月2日 1枚	ペン書	帝国森林会用紙	1綴(21枚)
	2 山林樹木の効用 本多静六 活版 講演レコードに添付の文字起しパンフレットか。赤字書込あり			1枚
535	新聞切抜 昭和15年 長野県治山治水期成同盟会総会			2枚
536	学校林昭和十六年春季植栽実行状況 昭和16年	ペン書		1綴(2枚)
537	学校林施業要領説明書記載資料 昭和17年カ		長野県野紙	1綴(3枚)
538	学校林所在箇所及面積 昭和 年	ペン書		1枚
539	〔上伊那農業学校林関係書類〕 昭和 年 前半部欠	ペン書		1綴(20枚)
540	昭和二十一年改定 治山治水事業緊急五ヶ年計画書 長野県 昭和21年	謄写		1綴(11枚)

541 森林治水事業中林野砂防並災害防止林業施設事業計画 1綴(29枚)
昭和21年 謄写

542 南信林業第2号切抜 五山 1枚
昭和22年4月15日
長野県下の学校林と伊沢多喜男先生(其の一)

543 山林を護れ 村上龍太郎〔林野局発行〕 1冊
昭和24年3月17日
目次・第1ページ目に新聞切抜(芸能関係)貼付のため、冊子内容の読み取り不可能

長野県関係

544 長野県上伊那郡高遠兜城跡公園内ヨリ本郡過半遠望ノ図 伊藤禄三郎 1枚
明治32年4月21日 印刷

545 - 1 中部日本横断豊糸線沿線資源図(森林) 信毎印刷 1枚

2 鉄道線路網図 鉄道省 1枚
昭和6年11月1日

3 鉄道線路図 鉄道省 1枚
昭和6年11月1日

546 信濃毎日切抜 1枚
昭和15年4月15日
辰豊線国鉄移管問題

547 〔二俣佐久間線沿線調書(写)〕 〔浜松市役所〕 1綴(4枚)
昭和17年 タイプ

(付) 信煙三国鉄期成同盟会幹事伊原五郎兵衛送付状(写) 企画院第六部 中村豊宛・
鉦産局長津田広宛・鉄道省建設局長小林紫朗宛 昭和17年10月13日 各1枚

- 548 **信濃毎日切抜** 1枚
 昭和9年9月5日・8日
 伊沢多喜男頌徳碑建立問題
- 549 **新聞切抜** 2枚
 昭和9年
 高遠閣建設問題
- 550 **株式会社高遠閣 創立趣意書・事業説明書・起業予算書・定款** 1冊
 昭和 年 活版
- 551 **演説資料 伊沢多喜男** 6枚
 昭和11年1月 ペン書・印刷
 木下信選挙関係
 「資料二三」、〔自筆メモ〕、〔木下信推薦文〕
 (付) 封筒 1枚
- 552 **〔上伊那郡衆議院選挙に関する感想〕 伊沢多喜男** 9枚
 昭和 年 ペン書
 木下信選挙関係 翻刻あり
- 553 - 1 **支出簿 衆議院議員候補者木下信選挙事務所** 1綴(13枚)
 昭和17年4月30日 ペン書
 木下信選挙関係
- 2 **〔支出簿〕 〔衆議院議員候補者木下信選挙事務所〕** 1綴(9枚)
 昭和(17)年4月～5月 墨書
 木下信選挙関係
- 554 **〔信濃宮神社創建関係書類〕** 1綴(6枚・1冊)
 昭和15年頃 謄写・活版
 信濃宮神社創建奉賛会規約・信濃宮神社創建経費収支予算・信濃宮神社御造営奉賛
 趣意書・信濃宮神社創建計画書・信濃宮神社の御事・信濃宮、宗良親王御伝略

- 555 **〔信濃宮神社造営に関する会議書類〕** 11枚
昭和16年8月18日 謄写
- 556 **信濃宮神社奉賛会副総裁任命状 信濃宮神社奉賛会長永安百治** 1枚
昭和17年1月28日 印刷・墨書 信濃宮神社奉賛会辞令用紙
(付) 信濃宮神社奉賛会封筒 伊沢多喜男宛 昭和17年(1)月31日 1枚
- 557 **上伊那社概況 昭和十六年度 〔蚕種共同施設組合上伊那社〕** 1綴(3枚)
昭和16年 ペン書 蚕種共同施設組合上伊那社罫紙
- 558 **信濃宮神社奉賛会規約・信濃宮神社御造営工事配置図** 2枚
昭和 年 謄写・活版
(付) 封筒 1枚
- 559 **信濃宮神社御造営計画平面図信濃宮神社付設修練場計画図** 3枚
昭和 年 謄写
- 560 **評議員会要領** 1綴(2枚)
昭和 年8月18日 謄写
- 561 **〔マッカーサー元帥に対する上書〕** 1綴(42枚)
長野県下伊那郡平谷村役場吏員有志
昭和20年11月1日 ペン書(カーボンコピー)

意見書・調査報告書類

- 562 **〔南支視察報告書〕 善隣協会理事高田雄種** 1綴(8枚)
大正8年4月 タイプ
- 563 **〔衆議院解散意見書〕 〔伊沢多喜男〕** 1枚(2枚に断)
昭和2年カ 墨書
翻刻あり

- 564 **永井柳太郎氏の幣原全権代表意見** **〔永井柳太郎〕** 6枚
 昭和4年 墨書
 ロンドン軍縮会議
 (付) 封筒 1枚
- 565 - 1 **青年将校ノ非常手段暴** 3枚
 昭和9年11月27日 タイプ
 昭和九年十一月 二、二六事件ノ予見報告・近衛公ノ改新政策論 (封筒表書)
 (付) 封筒 1枚
- 2 **近衛公ノ对政局意見** 6枚
 昭和9年頃 タイプ
- 566 **陸軍省新聞班ノパンフレット問題** 1綴(10枚)
 昭和9年 タイプ
 後半部欠
- 567 **東京日々新聞切抜 湯沢三千男** 2枚
 昭和14年4月18・19日
 湯沢三千男「新東亜建設の指標」 「新東亜建設・現地の指針」
 (付) 封筒 1枚
- 568 **主要都市ニ於ケル建築材料及賃金等ノ騰貴状況 (昭和十二年六月基準) 厚生省社会局住宅課** 1綴(10枚)
 昭和15年6月 謄写
- 569 **主要都市小学校建築費騰貴状況調** **〔厚生省〕社会局住宅課** 1綴(6枚)
 昭和15年カ 謄写
- 570 **〔仏印産業經濟調査報告書〕** 1綴
 昭和15年カ 謄写

- 571 **新内閣基本要綱** 【伊沢多喜男】 16枚
 昭和16年7月17日 ペン書
 昭和十六年七月十七日 近衛公に対する進言稿（封筒表書） 翻刻あり
 （付）封筒 1枚
- 572 **実業家授爵調書** 下条 1枚
 昭和16年11月24日
 （付）封筒 1枚
- 573 **関東大震災ノ経験ニ基ク治安警備ニ関スル一部ノ教訓** 陸軍省防衛課 1冊
 昭和19年 タイプ
 読売新聞社長正力松太郎談話（昭和19年1月11日）要旨
- 574 **大浦事件証人尋問調書・起訴猶予理由書** 2綴(6枚・3枚)
 タイプ
 （付）封筒 1枚
- 575 **〔大浦兼武復権意見書〕** 伊沢多喜男 1綴(9枚)
 ペン書
 翻刻あり
- 576 **朝鮮総督問題に就て** 【伊沢多喜男】 16枚
 昭和 年 ペン書
 翻刻あり
 浜口首相による伊沢の朝鮮総督推挙関連事情
 （付）封筒 1枚
- 577 **〔道義国家再建意見（断片）〕** 【伊沢多喜男】 3枚
 ペン書
 前後欠 翻刻あり
- 雑書類**
- 578 **〔工科大学設立に関する趣意書〕** 藤原銀次郎 1綴(6枚)
 昭和13年12月 タイプ

- 579 **佐々木政吉先生を語る 小池重** 1冊
 昭和15年2・3月 活版
 日本医事新報第910～914号別刷
 (付) 大阪新聞切抜 (昭和28年3月12日 皇太子外遊)
- 580 **米騒動や大震災の思ひ出 読売新聞社長正力松太郎** 1冊
 昭和19年1月23日 活版
- 581 **敬愛なる小野塚博士を憶ふ 棚橋寅五郎** 1冊
 昭和19年1月 活版
- 582 **報徳同志会設立趣意書 報徳同志会** 1枚
 昭和22年9月 活版
 書込あり
- 583 **(財) 進徳館塾則 三沢寛一** 2綴(11枚・7枚)
 財団法人進徳館寄付行為規定・学塾設立の主旨・塾規
 (付) 封筒 1枚

名簿

- 584 - 1 **七日会員名簿** 1枚
 昭和3年10月 活版・謄写
 書込あり。
 (付) 封筒 1枚
- 2 **昭和六年夏地方官名簿** 1枚
 昭和6年5月11日 謄写
- 585 **寄付者名簿** 5枚
 昭和 年 タイプ

伊沢多喜男関係記事

- 586 **県外活躍の県人 浜口首相の最高顧問伊沢多喜男氏 藤堂迂人** 3枚
昭和(6)年
雑誌記事切抜。
(付)封筒 1枚
- 587 **昭和八年 - 十二年頃 新聞切抜 伊沢多喜男関係** 5枚
市長賛否調(書類の部484)に同封。
(付)封筒 1枚
- 588 **松陽新報切抜** 1枚
昭和11年6月24日
伊沢の松江訪問
- 589 **あの日受けたる感激、伊沢枢密顧問官と語りて 戸田千葉** 1綴
昭和17年1月7日・2月15日 タイプ
- 590 **信濃教育(第725号) 信濃教育会** 2冊
昭和22年6月10日 活版
同一本2冊
武田次雄「これのや閑話」所載
- 591 **信州の東京(第362号)切抜 元貴族院書記官長小林次郎** 1枚
昭和30年9月1日 活版
「伊沢先生の思出」所載
- 592 **長野県緑化連盟会報信山緑化情報(第30号) 長野県緑化連盟** 1冊
昭和36年2月25日 活版
森戸吾良「信州の生んだ偉人—伊沢多喜男翁の書」所載
- 593 **伊沢多喜男氏に教育を聴く 城戸幡太郎・留岡清男・伊沢多喜男** 1綴(10枚)
タイプ
書込あり
雑誌『教育』初稿
(付)封筒 1枚

594 伊沢さんをお訪ねして 高田雄種 1綴(7枚)
ペン書

595 新聞切抜 馬場恒吾 1枚
明日の人々 (三) 伊沢と原敬

証書類

596 臨時治水調査会委員任命状 内閣 1枚
大正10年1月31日

597 帝都復興院評議会評議員任命状 内閣 1枚
大正12年10月18日

598 特別都市計画委員会委員任命状 内閣 1枚
大正13年2月2日

599 台湾総督任命状 内閣総理大臣加藤高明 1枚
大正13年9月1日
(付) 封筒1枚

600 西巢鴨町方面事業助成会名誉会員推挙状 1枚
西巢鴨町方面事業助成会長佐々木貞七
昭和6年10月30日

601 旭日大綬章授与状 賞勲局 1枚
昭和6年12月12日

602 愛国婦人会評議員任命状 伊沢徳子宛 1枚
愛国婦人会総裁故依仁親王妃周子
昭和10年6月1日

- 603 **鉄道会議議員任命状 内閣** 1枚
昭和14年11月25日
- 604 **貴族院議員免官状 内閣総理大臣近衛文麿** 1枚
昭和16年1月7日
- 605 **感謝状 財団法人大日本体育協会長下村宏** 1枚
昭和17年4月8日

招待状・下賜状（皇室関係）

- 606 **御陪食招待状 宮内大臣波多野敬直** 1枚
大正5年1月23日
(付) 封筒 1枚
- 607 **観桜会招待状 宮内大臣波多野敬直** 1枚
大正9年4月15日
(付) 封筒 1枚
- 608 **特別大演習終了後賜饌招待状 宮内大臣牧野伸顕** 1枚
大正10年11月10日
(付) 封筒 1枚
- 609 **観菊会招待状 宮内大臣一木喜徳郎** 1枚
大正15年11月3日
(付) 封筒 1枚
- 610 **観桜会招待状 宮内大臣一木喜徳郎** 1枚
昭和5年4月16日
(付) 封筒 1枚
- 611 **天長節宴会招待状 宮内大臣一木喜徳郎** 1枚
昭和5年4月22日
(付) 封筒 1枚、整理券 1枚

- 612 御陪食招待状 宮内大臣松平慶民 1枚
昭和22年4月23日
(付) 封筒 1枚
- 613 天皇陛下御誕生日祝賀会招待状 式部頭松平康昌 1枚
昭和24年4月20日 謄写
(付) 封筒 1枚
- 614 御下賜状 侍従長百武三郎 1枚
昭和16年8月13日 印刷
(付) 封筒 1枚
- 615 御下賜日時案内 侍従長百武三郎 1枚
昭和17年6月5日 印刷
(付) 封筒 1枚
- 616 御下賜状 侍従長百武三郎 1枚
昭和17年8月16日 印刷
(付) 封筒 1枚
- 617 御下賜日時案内 侍従長百武三郎 1枚
昭和18年12月6日 印刷
(付) 封筒 1枚
- 618 御下賜状 侍従長百武三郎 1枚
昭和18年12月21日 印刷
(付) 封筒 1枚
- 619 御下賜状 侍従長藤田尚徳・宮内大臣松平恒雄 2枚
昭和19年12月27日・29日 印刷
(付) 封筒 1枚

日記・手帳

620	日記（明治25年） 明治25年	伊沢多喜男 ペン書・墨書	1冊
621	手帳（大正4年） 大正4年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
622	手帳（大正14年） 大正14年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
623	手帳（昭和3年） 昭和3年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
624	手帳（昭和4年） 昭和4年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
625	手帳（昭和5年） 昭和5年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
626	手帳（昭和7年） 昭和7年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
627	手帳（昭和8年） 昭和8年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
628	手帳（昭和9年） 昭和9年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
629	手帳（昭和10年） 昭和10年	伊沢多喜男 ペン書	1冊

630	手帳（昭和11年） 昭和11年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
631	手帳（昭和12年） 昭和12年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
632	日記（断片） 昭和12年 昭和18年日記（書類の部637）に挟み込み 昭和12年1月17日～7月24日	伊沢多喜男 ペン書	1綴(32枚)
633	手帳（昭和13年） 昭和13年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
634	手帳（昭和14年） 昭和14年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
635	手帳（昭和15年） 昭和15年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
636	手帳（昭和16年） 昭和16年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
637	手帳（昭和17年） 昭和17年	伊沢多喜男 ペン書	1冊
638	手帳（昭和18年） 昭和18年	伊沢多喜男 ペン書	1冊

- 639 日記（昭和18年） 伊沢多喜男 1冊
昭和18年 ペン書
(付) 原稿断片 (しおりとして)
- 640 手帳（昭和19年） 伊沢多喜男 1冊
昭和19年 ペン書
- 641 手帳（昭和20年） 伊沢多喜男 1冊
昭和20年 ペン書
- 642 日記（昭和20年） 伊沢多喜男 1冊
昭和20年 ペン書
翻刻あり
- 643 昭和二十年日記 伊沢多喜男 1冊
昭和20年～21年 ペン書
大半が昭和21年分。 一部翻刻あり
(付) 新聞切抜5種 (医療・手芸関係)
- 644 手帳（昭和21年） 伊沢多喜男 1冊
昭和21年 ペン書
- 645 手帳（昭和22年） 伊沢多喜男 1冊
昭和22年 ペン書
- 646 手帳（昭和23年） 伊沢多喜男 1冊
昭和23年 ペン書
(付) 新聞切抜2種 (芦田内閣人事)
- 647 手帳（昭和24年） 伊沢多喜男 1冊
昭和24年 ペン書

648 日記（昭和24年） 伊沢多喜男 1冊
昭和24年 ペン書

伊沢手記・回想・演説記録等

649 - 1 大浦兼武子爵記念事業会の経過報告案 【伊沢多喜男】 15枚
大正11年頃カ
龍水手記数種（封筒表書）
（付）封筒 1枚

2 震災見舞礼状（下書） 【伊沢多喜男】 1枚
大正12年10月 墨書

3 吾人の富（英文翻訳） 【伊沢多喜男】 4枚
ペン書

4 江木千之君と対談 【伊沢多喜男】 3枚
ペン書

5 長野県の東宮奉迎 【伊沢多喜男】 2枚
ペン書

6 【富岡鉄斎訪問記（未完）】 【伊沢多喜男】 2枚
昭和18年頃 墨書

650 【加藤高明の追憶】 伊沢多喜男 36枚
昭和10年カ ペン書
翻刻あり
昭和10年7月報知新聞連載「巨人を偲ぶ」の草稿カ

651 故川崎卓吉君追悼演説 【伊沢多喜男】 5枚
昭和11年カ ペン書

- 652 岐阜、愛知、三重旅行 〔伊沢多喜男〕 3枚
昭和12年 ペン書
- 653 龍水翁古稀祝賀晩餐会席上挨拶 松村春次速記 伊沢多喜男校正 1綴(17枚)
昭和13年11月24日 ペン書
- 654 大浦子の人格と本会設立の趣旨 大浦育英会理事伊沢多喜男 1綴(7枚)
大浦育英会理事伊沢多喜男
昭和15年6月8日 タイプ
書込あり 翻刻あり
- 655 〔西園寺老公の墓去に想う〕 伊沢多喜男 1綴(23枚)
昭和15年カ ペン書
後半部欠 翻刻あり
- 656 伊沢多喜男氏談話速記 憲政史編纂会 1冊
昭和16年6月17日・7月2日 タイプ
翻刻あり
- 657 伊沢多喜男先生の御訓話 長野県上伊那農業学校 1綴(6枚)
昭和16年8月22日 ペン書
翻刻あり
- 658 訓話(昭和十六年九月長野県庁に於て) 枢密顧問官伊沢多喜男 1綴(10枚)
昭和16年9月 ペン書
翻刻あり
- 659 〔中村房次郎追悼の辞〕 伊沢多喜男 1綴
昭和19年 ペン書

- 660 **中村房次郎翁追悼会記録 中村房次郎追悼会** 1冊
 昭和19年
 伊沢多喜男「中村房次郎君 その為人と逸事二三」所載
- 661 **岩波君を憶ふ 伊沢多喜男** 1綴(8枚)
 昭和21年カ ペン書
 翻刻あり
- 662 **八代大将逸事 其の三 伊沢多喜男談** 3枚
 昭和 年 ペン書
 書込あり。
 (付) 封筒 1枚
- 663 **川崎卓吉伝序文 次田大三郎起案 伊沢多喜男校正** 4枚
 昭和 年 ペン書
 (付) 封筒 1枚
- 664 **〔政治論覚書〕 〔伊沢多喜男〕** 2枚
 昭和 年 ペン書
- 665 **〔日本神話論断片〕** 16枚
 タイプ
 前後欠。

詩文等

- 666 **蜻州庶庵詩書 立花小一郎** 5枚
 大正11年～13年頃 墨書
 4点(大正11年晩秋・大正12年10月・大正13年秋・年月日不明)
 (付) 封筒 1枚
- 667 **頑翁帖(怒庵帖)** 1冊
 昭和17年 墨書
 訪問者寄せ書き

- 668 **頑爺帖 其二** 1冊
 昭和18年～22年 墨書
 訪問者寄せ書き
- 669 **〔寄書帳〕** 1冊
 昭和18年頃 墨書
- 670 **貞文百首 関屋貞三郎** 1枚
 昭和20年4月 活版
 (付) 封筒 1枚
- 671 **頑爺莊即興・畳旧作詩韻 〔伊沢多喜男〕** 2枚
 昭和 年 墨書
 「龍水七十四兒」と署名あり
- 672 **〔詩文〕 伊沢多喜男** 1枚
 昭和 年 墨書
 「龍水八十兒」と署名あり。
 昭和18年6月29日消印伊沢宛藤原銀治郎封筒（書翰の部274-1）に同封
- 673 **〔詩文〕 伊沢多喜男（龍水）** 1枚
 墨書
- 674 **〔詩文〕 伊沢多喜男（怒庵）・蜻洲** 1枚
 墨書
- 675 **〔詩文〕** 2枚
 墨書
- 676 **〔詩文〕** 1枚
 墨書
 王之涣「登鶴雀楼」

- 677 **名言写** 2枚
墨書
維摩經（部分）・雲門大師語・白隱禪師病中の公案
- 678 **董水俳画天地 董水** 1冊
- 679 **〔古語・川柳〕 館林三喜男・遠藤隆吉・蔡培火** 2枚
墨書
（付）封筒1枚
- 680 **〔川柳断片〕** 1枚
墨書
題：枢密院
- 681 **〔都々逸〕** 1枚
墨書
（付）包紙1枚

伊沢家関係書類

- 682 **明治二十七年東京帝大政治科国際公法答案 伊沢多喜男** 1綴(5枚)
明治27年 墨書 法科大学罫紙
昭和17年10月朝日新聞記者大塚喜平持参（封筒表書）
（付）封筒 1枚
- 683 **伊沢多喜男履歴書** 1綴(3枚)
明治28年7月10日～31年5月5日 墨書 山梨県罫紙
- 684 **電話購入書類** 7枚
大正2年～3年 ペン書・墨書等
（付）封筒 1枚

- 685 屏風保証書 永井興平・越野徳太郎 1枚
大正3年12月20日 墨書
- 686 倫敦購入書籍受領書・パリ一購入絵画受領書 2枚・1枚
大正10年 ペン書
(付) 封筒 1枚
- 687 欧米旅行券 日本帝国外務大臣内田康哉 1綴
大正10年3月12日
伊沢多喜男旅券
(付) 封筒 1枚
- 688 紹介状 Sulzer Brothers 2枚
1921 (大正10) 年5月6日 タイプ
伊沢訪欧時
(付) 封筒 1枚
- 689 受領証 (第三巢鴨尋常小学校新設費寄付) 北豊島郡西巢鴨町長 1枚
西山安久作
大正 年
伊沢とく宛
- 690 写真 (複製) 1枚
昭和3年11月
即位式当日の伊沢多喜男・徳子 (写真書込)
- 691 土地使用承諾書 東京市長牛塚虎太郎宛 伊沢多喜男 1綴 (3枚)
昭和10年1月 謄写・ペン書
- 692 - 1 熱海分福温泉土地組合加入申込書 発起人岸衛宛 伊沢紀 2枚
昭和11年5月 活版・鉛筆書・墨書
(付) 封筒 1枚

- 692 - 2 熱海分福温泉土地組合第四回払込金領収書 伊沢紀宛 1枚
熱海分福温泉土地組合理事岸衛
印刷・墨書
- 3 熱海椰山荘温泉土地組合理約 2枚
活版
- 693 - 1 書翰草稿 【伊沢多喜男】 2枚
昭和（14）年 ペン書
銚持神社銘刀奉納式・伊沢父母並びに修二法要計画
- 2 【銚持神社銘刀奉納式祝詞】 2枚
昭和14年10月1日 墨書
- 3 【伊沢多喜男父母・兄修二法要案内状】 池上宗八 1枚
昭和14年9月29日 活版 葉書
- 4 建福寺法要参列者名列 1綴(3枚)
墨書
- 5 名刺 3枚
昭和十四年十月一日・九月三十日高遠帰省 学校林講演会、協議会、銚持神社
刀剣献納式、建福寺法要（封筒表書）
重森二三四・高遠警察署長長野県警部補永田和美・長野県高遠町郵便局長坂井直彦
（付）封筒 1枚
- 694 【古稀祝賀会記念品礼状】 伊沢多喜男 1枚
昭和15年5月 タイプ
- 695 小高親履歴書 小高親
昭和18年4月25日

- 696 **〔扶助料請求関係書類〕 伊沢とく** 1綴(6枚)
 昭和26年 タイプ
 (付) 封筒 1枚
- 697 **〔覚書〕 〔伊沢多喜男〕** 2枚
 ペン書
 婚儀に関連する伊沢家の紹介
- 698 **河井家親類書** 1枚
 (付) 封筒 1枚
- 699 **〔黒河内家親族一覧〕** 1枚
 墨書
- 700 **臨時收容家屋、移動式住宅、新設設計書** 1綴(6枚)
 ペン書 東京市罫紙
- 701 **旧道南裏線道路改良工事 土地潰地調書** 2枚
 (付) 軽井沢町連合土木委員会会長酒井好之名刺 1枚、軽井沢町役場封筒 1枚
- 702 **「昭和の政党特別展」協力への礼状 黒河内透宛
 憲政記念館長大友武・金子久男** 2枚
 平成2年4月15日 墨書・タイプ
 憲政記念館展覧会(平成2年3月8日～27日)への資料提供礼状
 (付) 封筒 1枚